

CLOUD SERVICE
C3 Portal

このガイドでは、ネットワークを利用してワイヤレスでコンテンツをクラウドサービスC3 Portalに送信するためのシステム構成と方法について説明します。

C3 Portalのセットアップや設定変更については、ヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

URL : https://helpguide.sony.net/pro/c3p_setup/v1/ja/index.html

概要

[特長](#)[システム構成例](#)[操作の流れ](#)

画面構成

[「ライブ」画面の構成](#)[「プランニング」画面の構成](#)[「アセット」画面の構成](#)[「転送」画面の構成](#)[「設定」画面の構成](#)[モバイル機器用Web画面の構成](#)

トランスミッターの設定

[カムコーダーをモバイルAppと接続する](#)[カムコーダーをネットワーククライアントモードに設定する](#)[XDCAM.pocketを起動する](#)

ストリーミングの操作

[ストリーミングを開始する](#)[SRTストリーミングを開始する](#)[ストリームをファイルに保存する](#)[SNSまたは外部システムへのストリーミングを行う](#)[クラウドレシーバーを作成する](#)

[インターカムを使用する](#)

収録予定の操作

[C3 Portalを使用してストーリーを作成する](#)

[ストーリーをカムコーダーに割り当てる](#)

[ストーリーをユーザーに割り当てる](#)

[ストーリーをエンコーダーに割り当てる](#)

[ストーリーをカムコーダーにロードする](#)

[ストーリーをモバイル機器用Web画面からロードする](#)

アセットの操作

[アセットを管理する](#)

[アセットを編集する](#)

[アセットを共有する](#)

[ストーリーボードを使用して映像を編集する](#)

[ファイルを転送する](#)

[ノンリニアエディターとの連携を行う](#)

[記録中にファイルをプレビュー／トリミングする](#)

[チャンクファイル転送中のアセットを編集する](#)

[ストーリーメタデータを編集する](#)

[ストーリーメタデータの添付ファイルを操作する](#)

その他

[設定のバックアップ／復元を行う](#)

[モバイル機器用Web画面で設定をバックアップ／復元する](#)

[LUTを管理する](#)

[All fileを管理する](#)

[サービス使用状況を確認する](#)

[対応フォーマット](#)

[制限事項](#)

[商標](#)

特長

C3 Portalは、クラウドサービスであり、接続されたカムコーダーおよびCreators' App for enterprise（以降、「モバイルApp」と言います）からコンテンツ（ファイルまたはストリーミング）をネットワーク経由で送信し、クラウド上ではそのコンテンツの管理を行います。また、メタデータをクラウドとカムコーダーの間でやり取りすることもできます。

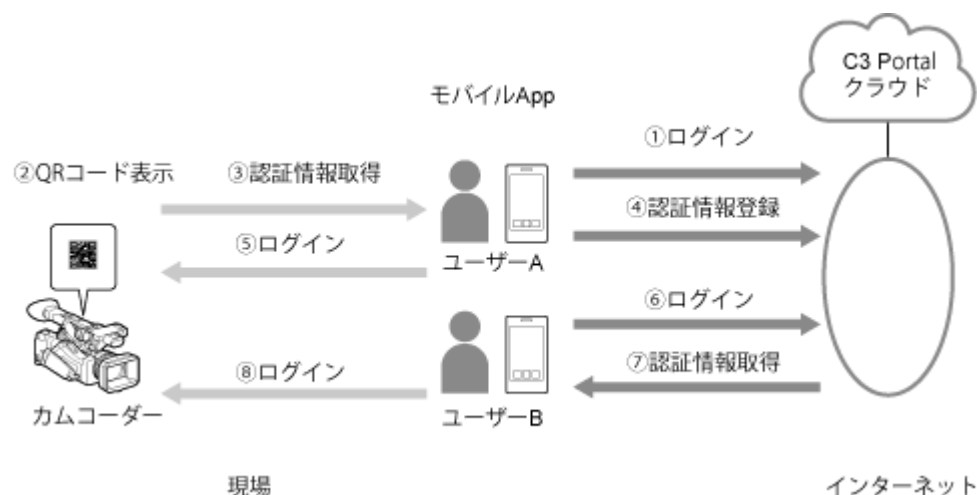
CLOUD SERVICE
C3 Portal

システム構成例

ここでは、C3 Portalを使用したシステム構成例を紹介します。

モバイルAppの簡単設定

QRコードを使用してモバイルAppでカムコーダーのアクセス認証情報を取得し、C3 Portalに登録できます（下図のユーザーAの操作1～5）。登録されたアクセス認証情報を使用して、他のモバイルAppからカムコーダーにログインすることができます（下図のユーザーBの操作6～8）。

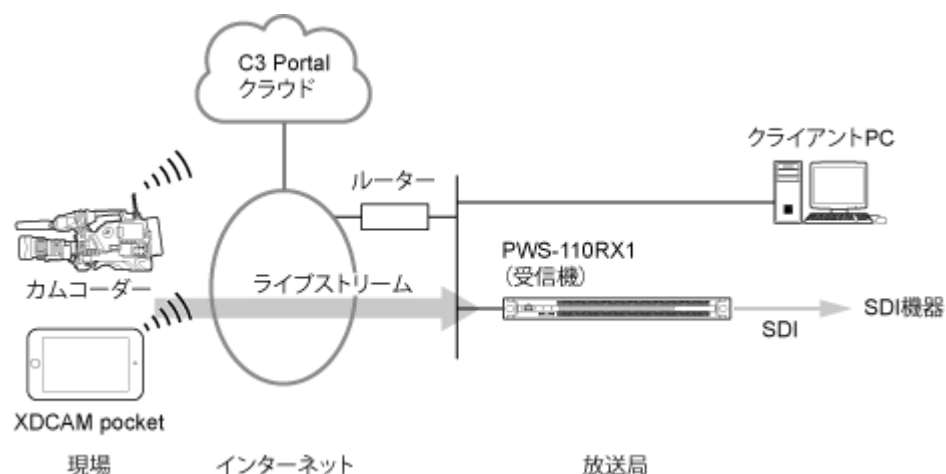


ご注意

- モバイルAppの簡単設定を行えるのはQRコード表示に対応したカムコーダーのみです。

ライブストリーミングの運用

以下のシステム構成では、PWS-110RX1A/PWA-RX1を使用してストリーミング映像を受信し、C3 Portalサービスを使用して接続を管理します。



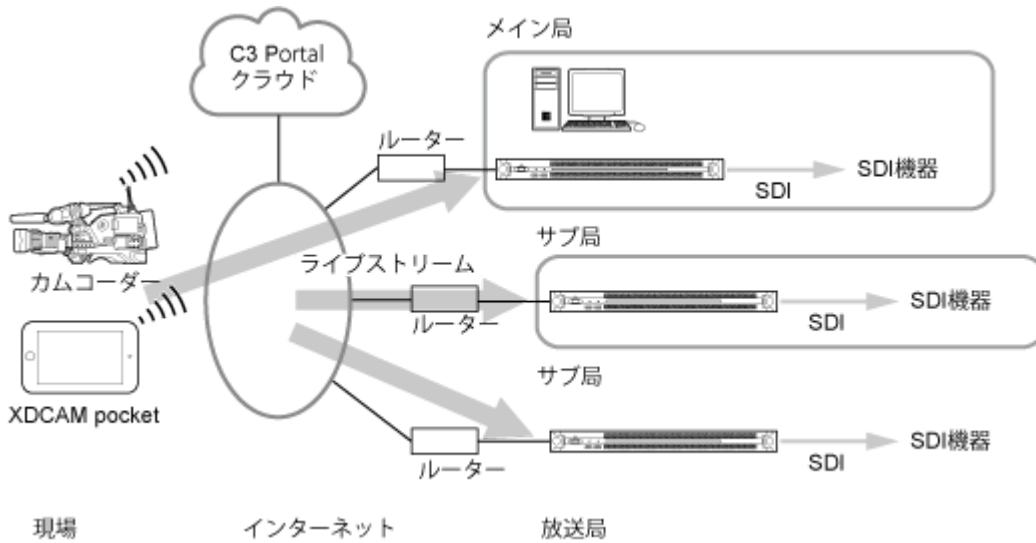
ご注意

- ストリーミングを行うには、カムコーダーがネットワーククライアントモード（NCM）に設定されている必要があります。

- モバイルApp経由での接続時はストリーミング機能を使用しないでください。

複数局へのストリーミング（マルチポイント配信）

以下のシステム構成では、複数の受信局に対してストリーミングを行います。ストリーミングを行うには、メイン局として局を指定します。このストリームには他のサブ局も参加できます。

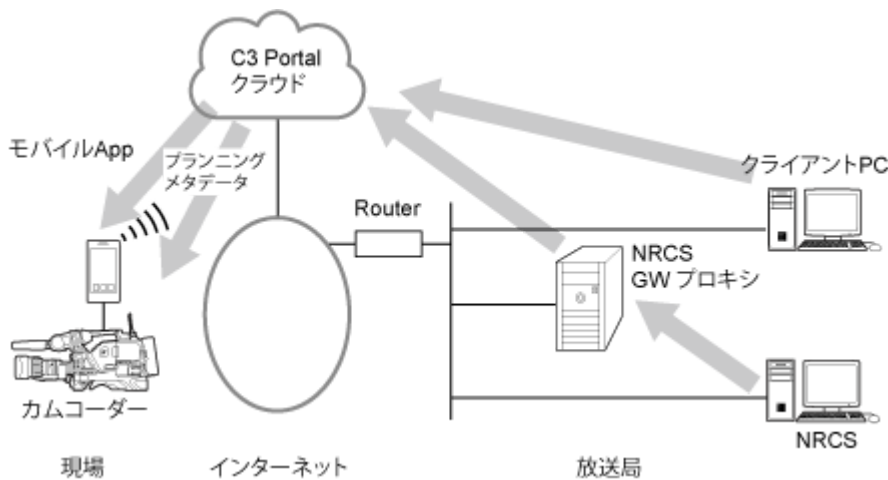


ご注意

- ストリーミングを行うには、カムコーダーがネットワーククライアントモード（NCM）に設定されている必要があります。
- モバイルApp経由での接続時はストリーミング機能を使用しないでください。

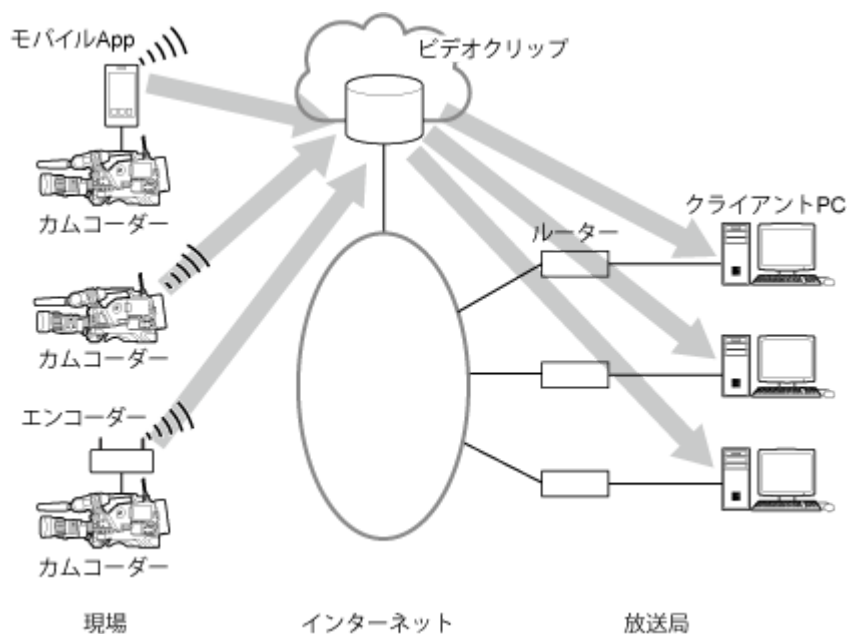
収録予定の運用

以下のシステム構成では、ニュースルームコンピューターシステム（NRCS）から受信またはC3 Portalで作成した収録予定を現場のカムコーダーに送信します。



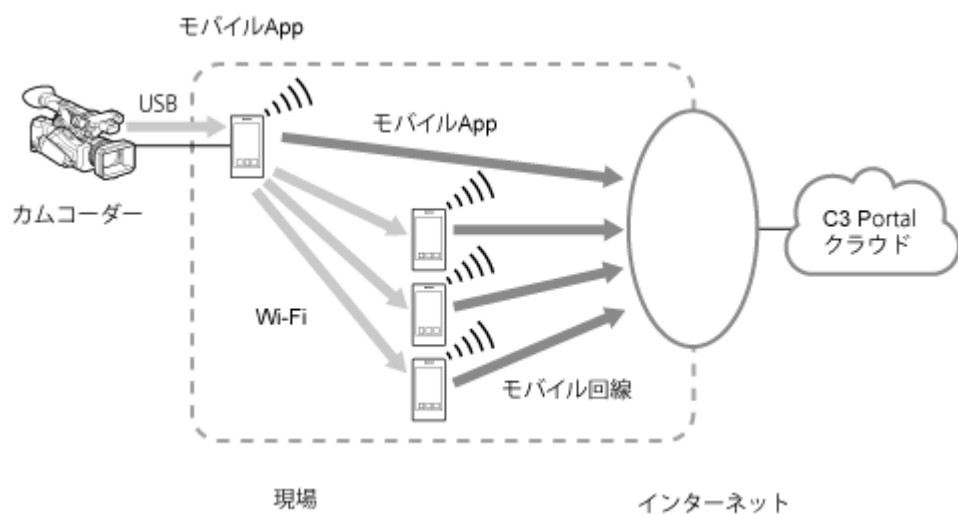
アセット管理

以下のシステム構成では、スマートフォンにインストールされたモバイルAppまたはカムコーダーからアップロードされたビデオクリップをアセットとして管理、共有します。



ファイルの高速転送

複数のスマートフォンのインストールされたモバイルAppを使用して、ビデオクリップをC3 Portalに高速で転送できます。

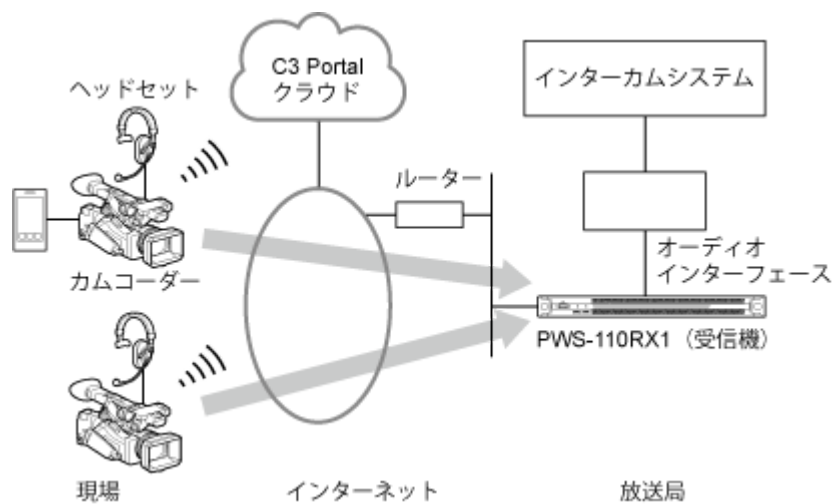


ご注意

- 高速転送機能を使用するには、オプションライセンスが必要です。

インターカムの運用

以下のシステム構成では、インターカム機能を備えたカムコーダーの使用時に、放送局内のインターカムとC3 Portalを連携して運用します。



ご注意

- インターカムを運用するには、カムコーダーがネットワーククライアントモード（NCM）に設定されている必要があります。
- モバイルApp経由での接続時はインターカムの運用はできません。

操作の流れ

本サービスを使用するには、以下の順序で操作を行います。

1 セットアップ

操作に必要なセットアップは管理者が行います。セットアップの手順については、ヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

セットアップが完了したら、現場と放送局で以下の操作を行います。

2 現場での操作

1. 使用する機器を設定する。

- モバイルAppからカムコーダーとC3 Portalにログインする。
モバイルAppをインストールしたスマートフォンとカムコーダーを接続して撮影に使用する場合は、スマートフォンとカムコーダーをUSB接続し、モバイルAppからカムコーダーとC3 Portalにログインします。詳しくは、モバイルAppのヘルプガイドをご覧ください。
- カムコーダーをネットワーククライアントモードに設定する。
ネットワーク対応カムコーダーを撮影に使用する場合は、カムコーダーをネットワーククライアントモードに設定します。
- XDCAM pocketを起動する。
収録にXDCAM pocketを使用する場合は、XDCAM pocketアプリケーションを起動します。詳しくは、XDCAM pocketのヘルプをご覧ください。

詳しくは、「トランスミッターの設定」カテゴリの各ページをご覧ください。

2. カムコーダーまたはXDCAM pocketで収録を行う。

3 放送局での操作

1. C3 Portalにログインする。

Ciのアカウントをお持ちの場合は、Ciのアカウント情報でログインすることもできます。

2. 収録予定をカムコーダーに送信する。

ニュースルームコンピューターシステムに接続して運用を行う場合、ニュースルームコンピューターシステムから受信した収録予定を、C3 Portalでユーザーまたはカムコーダーに割り当てます。

収録予定の送信と割り当ては、手順2の現場での収録の前に行います。

詳しくは、「収録予定の操作」カテゴリの各ページをご覧ください。

3. 記録したアセットを共有する。

アセット機能を使用して、カムコーダーからC3 Portalにアップロードされたアセットを共有します。

詳しくは、「アセットの操作」カテゴリの各ページをご覧ください。

関連項目

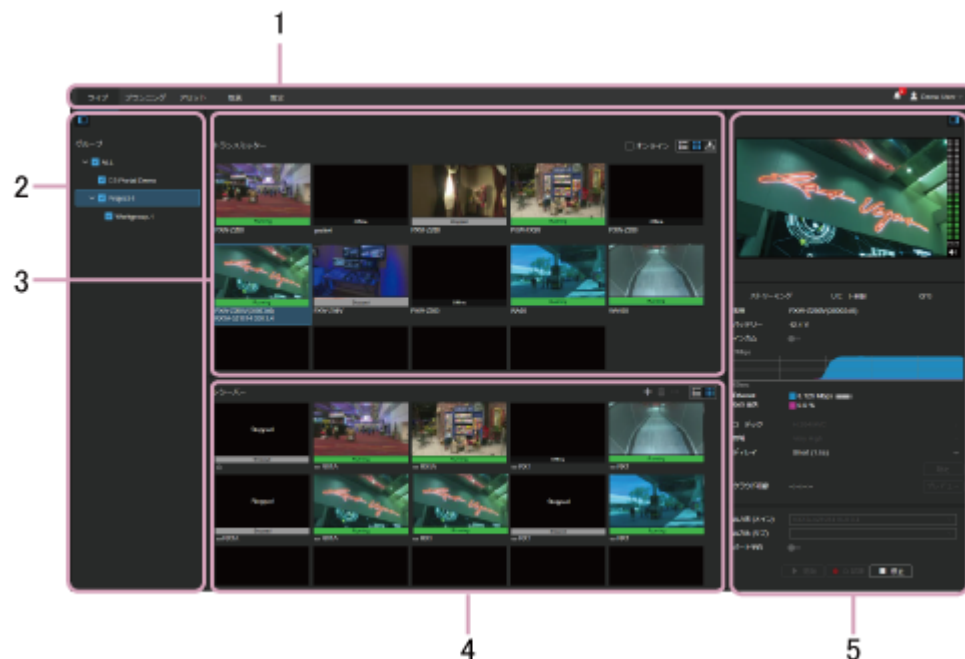
- [カムコーダーをモバイルAppと接続する](#)
- [カムコーダーをネットワーククライアントモードに設定する](#)
- [XDCAM pocketを起動する](#)

- ストーリーをカムコーダーに割り当てる
- ストーリーをユーザーに割り当てる
- アセットを管理する

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

【ライブ】画面の構成

【ライブ】画面には、ストリーミングを行う機器と、ストリーミングを開始／停止するためのコントロールが表示されます。



1. グローバルメニュー

パーツをクリックすると、画面間を移動できます。

- 【ライブ】：【ライブ】画面を表示します。
- 【プランニング】：【プランニング】画面を表示します。
- 【アセット】：【アセット】画面を表示します。
- 【転送】：【転送】画面を表示します。
- 【設定】：【設定】画面を表示します。
- （通知）：ユーザーに対する通知を表示します。通知を既読にするには、（既読にする）を押します。すべての通知を既読にするには、【すべてを既読】を押します。【すべてを削除】を押すと、すべての通知が削除されます。
- （個人設定）：サインアウト、アカウント設定の表示、ヘルプガイドの表示、NRCS Gateway Server AppやC3 Portalパネルモジュールのダウンロードページの表示、プライバシーポリシーの表示、利用規約の表示などを行います。



2. 【グループ】エリア

登録されているグループを表示します。


3. 【トランスミッター】／【リスナー】エリア

【グループ】エリアで選択したグループに登録されているトランスミッターとSRTリスナーを表示します。

- 【オンライン】チェックボックス（【トランスミッター】タブのみ）：チェックを入れると、オンラインのトランスミッターのみが表示されます。
- （リスト表示）ボタン：機器をリスト形式で表示します。
- （メニュー）ボタン（【リスナー】タブのみ）：【詳細】を押すと、選択したリスナーの設定内容が表示されます。






-  (グリッド表示) ボタン：機器をグリッド形式で表示します。
-  (マップ表示) ボタン ([トランスミッター] タブのみ)：地図上にトランスミッターの現在位置を表示します。

ご注意

-  (マップ表示) ボタンは、 [設定] 画面の [位置情報] ページで [Map表示 / GPS (Live)] が [ON] になっている場合のみ表示されます。

4. [レシーバー] エリア

[グループ] エリアで選択したグループに登録されているレシーバーを表示します。ここでクラウドレシーバーを作成できます。

-  (メニュー) ボタン：選択したレシーバーの設定内容の表示と設定の編集に使用します。
-  (作成) ボタン：クラウドレシーバーを作成します。
-  (削除) ボタン：クラウドレシーバーを削除します。
-  (リスト表示) ボタン：機器をリスト形式で表示します。
-  (グリッド表示) ボタン：機器をグリッド形式で表示します。

5. ストリーミング情報エリア

[トランスミッター] / [リスナー] エリアで機器を選択すると、以下の情報が表示されます。

プレビューエリア

選択した機器からのストリーミングコンテンツのプレビューが表示されます。

[ストリーミング] タブ

ストリーミングコンテンツの詳細情報が表示されます。

- **[名前]**：トランスミッターの名称
- **[バッテリー]** ([トランスミッター] タブの機器選択時のみ)：バッテリー情報
- **[URL]** ([リスナー] タブの機器選択時のみ)：SRTストリームを受信するためのURL
- **[インターカム]**：インターカム機能のオン/オフを切り替えます。また、インターカム機能の状態を表示します。状態について詳しくは、「インターカムを使用する」をご覧ください。
- **[ネットワーク情報]**：カムコーダーとの通信に使用している回線のキャリア名、ネットワークの種類、電波強度
- **[QoS損失]**：QoSのロス率
- **[コーデック]**：ストリーミングに使用するコーデック
- **[帯域]** ([トランスミッター] タブの機器選択時のみ)：ストリーミングの解像度と最大ビットレートを選択します。[Very High]、[High]、[Middle]、[Low]、[Very Low] のいずれかを選択できます。選択できる値は、接続しているカムコーダーによって異なります。XDCAM pocketの場合は[Auto]も選択できます。トランスミッターの機種によっては、[High(R)]と[High(F)]が表示される場合があります。クリアでスムーズなストリーミングを実現するには、[High(R)]と[High(F)]を調整します。
- **[ディレイ]** ([トランスミッター] タブの機器選択時のみ)：ストリーミングの遅延時間を選択します。[Very Short]、[Short]、[Middle]、[Long]、[Very Long] のいずれかを選択できます (表示される遅延時間は目安であり、実際の遅延時間とは異なる場合があります)。
- **[フレームレート]** ([リスナー] タブの機器選択時のみ)：SRTストリーミングに使用するフレームレートを選択します。
- **[レイテンシ]** ([リスナー] タブの機器選択時のみ)：SRTストリーミングのレイテンシを指定します。
- **[設定] ボタン**：変更した[コーデック]、[帯域]、[ディレイ]、[フレームレート]、[レイテンシ]の設定を適用する場合にクリックします。
- **[ストーリー選択]**：ストリーミング映像を収録する際に割り当てるストーリーを選択します。
- **[クラウド収録]**：クラウドレシーバーを使用してストリームを記録した場合の時間を表示します。[プレビュー] ボタンをクリックすると、記録中のアセットのプレビューが[アセット]画面に表示されます。

ご注意



- クラウドレコーディング機能を使用するためには、Media Manager、Media Editor、Media Viewerのいずれかの権限が必要です。

- **[出力先 (メイン)]**：ストリーミングのメイン出力先となるレシーバーを選択します。
- **[出力先 (サブ)]**：ストリーミングのサブ出力先となるレシーバーを選択します。

- **【ポート予約】**：[出力先（メイン）] でソースとポートを選択し、スイッチをオンにすると、選択したポートがストリーミング用に予約されます。予約をキャンセルする場合は、スイッチをオフにしてください。

ご注意

- [設定] 画面で [自動ストリーミング] が [ON] になっていると、ポートが出力先として予約され、そのポートに「Auto Streaming」と表示されます。詳しくは、ヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

- **【開始】ボタン**：ストリーミングを開始します。
- **【記録】ボタン**：ストリームをファイルに記録します。記録中、トランスミッターのサムネイルに   が表示されます。
- **【停止】ボタン**：ストリーミングを停止します。

【リモート制御】タブ

カムコーダーをリモートで制御します。リモコンを使用する場合は、[カメラ操作] をオンにします。

[NCM with Proxy] を使用すると、プロキシ記録のオン/オフを切り換えることができます。

リモートカムコーダーで記録する場合は、[Rec操作] をオンにしてください。

ご注意

- [リモート制御] タブは、リモートコントロールに対応したカムコーダーを選択した場合のみ有効になります。
- PXW-Z280/Z190/FX9カムコーダーがリモート記録に対応しています。

【GPS】タブ

カムコーダーから取得した位置情報が表示されます。

ご注意

- [GPS] タブは、[設定] 画面の [位置情報] ページで [Map表示 / GPS (Live)] が [ON] になっている場合のみ表示されます。

関連項目

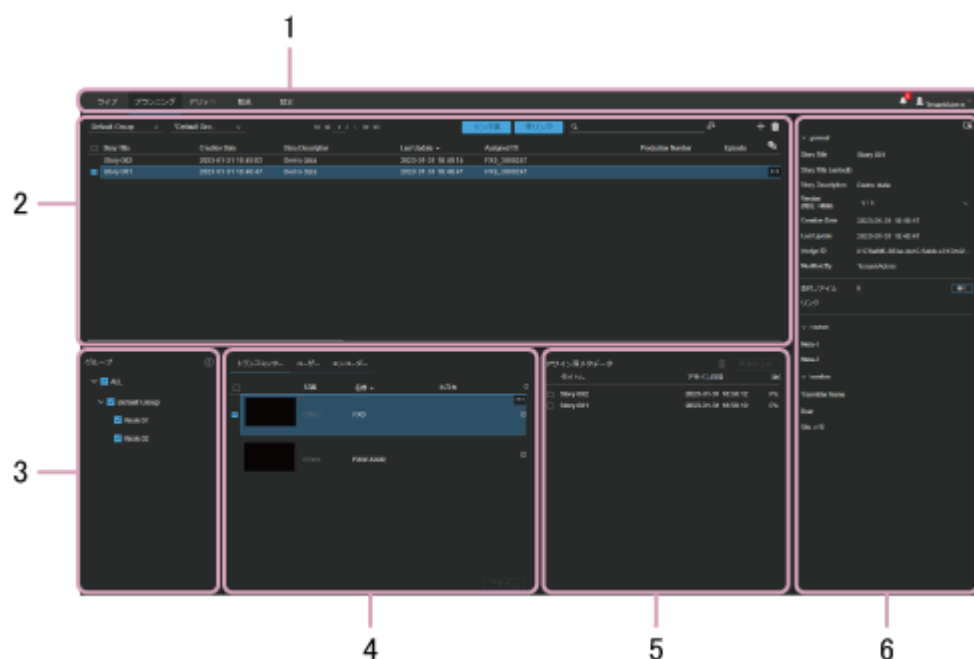
- [クラウドレシーバーを作成する](#)
- [インターカムを使用する](#)

【プランニング】画面の構成

【プランニング】画面には、収録予定がリスト形式で表示されます。収録予定は、ニュースルームコンピューターシステム（NRCS）から受信、または本サービス上で作成できます。この画面は、リストで選択した収録予定をカムコーダーやユーザーに送信するために使用します。

ご注意

- C3 Portalでは、収録予定のことを「ストーリー」と呼びます。



1. グローバルメニュー

パーツをクリックすると、画面間を移動できます。

- [ライブ]：[ライブ] 画面を表示します。
- [プランニング]：[プランニング] 画面を表示します。
- [アセット]：[アセット] 画面を表示します。
- [転送]：[転送] 画面を表示します。
- [設定]：[設定] 画面を表示します。
- （通知）：ユーザーに対する通知を表示します。通知を既読にするには、（既読にする）を押します。すべての通知を既読にするには、[すべてを既読]を押します。[すべてを削除]を押すと、すべての通知が削除されます。
- （個人設定）：サインアウト、アカウント設定の表示、ヘルプガイドの表示、NRCS Gateway Server AppやC3 Portal/パネルモジュールのダウンロードページの表示、プライバシーポリシーの表示、利用規約の表示などを行います。

2. ストーリー操作エリア






ストーリーの検索や選択、新規作成や編集に使用します。ストーリーをカムコーダーやユーザーに送信することもできます。グループとプランニングインターフェースをドロップダウンリストから選択すると、関連するストーリーが表示されます。表示されるストーリーが多い場合は、ページを分割して表示します。

- グループドロップダウンリスト：グループを選択します。

- プランニングインターフェースドロップダウンリスト：グループドロップダウンリストで選択したグループにプランニングインターフェースが複数登録されている場合、表示するプランニングインターフェースを選択します。各グループの作成時に自動的に作成されたデフォルトのプランニングインターフェースの頭には、「*」が表示されます。
- [リンク済] ボタン：ボタンを押して有効（青色）にすると、ピンにリンクされているストーリーがストーリー一覧に表示されます。
- [未リンク] ボタン：ボタンを押して有効（青色）にすると、ピンにリンクされていないストーリーがストーリー一覧に表示されます。

ご注意

- [リンク済] ボタンと [未リンク] ボタンは連動せず、それぞれ独立して機能します。

- （検索）：入力欄の文字列でストーリーを検索し、検索結果を表示します。（高度な検索）ボタンを押すと、指定したメタデータの値による検索ができます。
- （ストーリーの作成）：ストーリーを作成します。表示されたダイアログで [インポート] ボタンをクリックすると、別途作成したCall Sheetからストーリーを取り込むことができます。
- （ストーリーの削除）：選択したストーリーを削除します。
- （表示列の設定）：ストーリー操作エリアに表示される項目を選択します。
- ストーリー一覧：ストーリーの一覧と情報が表示されます。[Status] 列に表示される内容は以下の通りです。
 - **Registered**：ストーリーがカムコーダー／ユーザー／エンコーダーに割り当てられていない。
 - **Assigned**：ストーリーがカムコーダーに割り当てられているが、送信されていない。または、ユーザー／エンコーダーに割り当てられている。
 - **Complete**：ストーリーが割り当て済みのすべてのカムコーダーに送信されている。ストーリーがユーザーに割り当てられている場合は、モバイル機器用Web画面で [送信&ロード] を行うとこの状態になります。
 - **Error**：何らかの理由でストーリーをカムコーダーに送信できなかった。

3. [グループ] エリア

ツリービューでグループを選択すると、そのグループに登録されているカムコーダー／ユーザー／エンコーダーが、割り当て対象選択エリアに表示されます。

4. 割り当て対象選択エリア



ストーリーを割り当てるカムコーダー、ユーザーまたはエンコーダーを選択します。

[アサイン] ボタンをクリックすると、選択したカムコーダー、ユーザーまたはエンコーダーにストーリーを割り当てることができます。

【トランスミッター】タブ

ストーリーを割り当て可能なカムコーダーが表示されます。

サムネイルをクリックして [TX内プランニングメタデータ] を選択すると、カムコーダーに送信されたストーリーのリストが表示されます。この画面でストーリーを選択し、リストに表示されているカムコーダーにロードすることができます。

- [オンライン] チェックボックス：チェックを入れると、オンラインのカムコーダーのみが表示されます。
- （リスト表示）ボタン：機器をリスト形式で表示します。
- （グリッド表示）ボタン：機器をグリッド形式で表示します。

【ユーザー】タブ

ストーリーを割り当て可能なユーザーが表示されます。

【エンコーダー】タブ

ストーリーを割り当て可能なエンコーダーが表示されます。

5. [アサイン済メタデータ] エリア


割り当て対象選択エリアで選択したカムコーダー、ユーザーまたはエンコーダーに割り当てられたストーリーが表示されます。

ご注意

- [アサイン済メタデータ] エリアのステータス表示は自動で更新されません。[再読み込み] ボタンをクリックして表示を更新してください。

6. ストーリー情報エリア

ストーリー操作エリアで選択したストーリーの情報が表示されます。

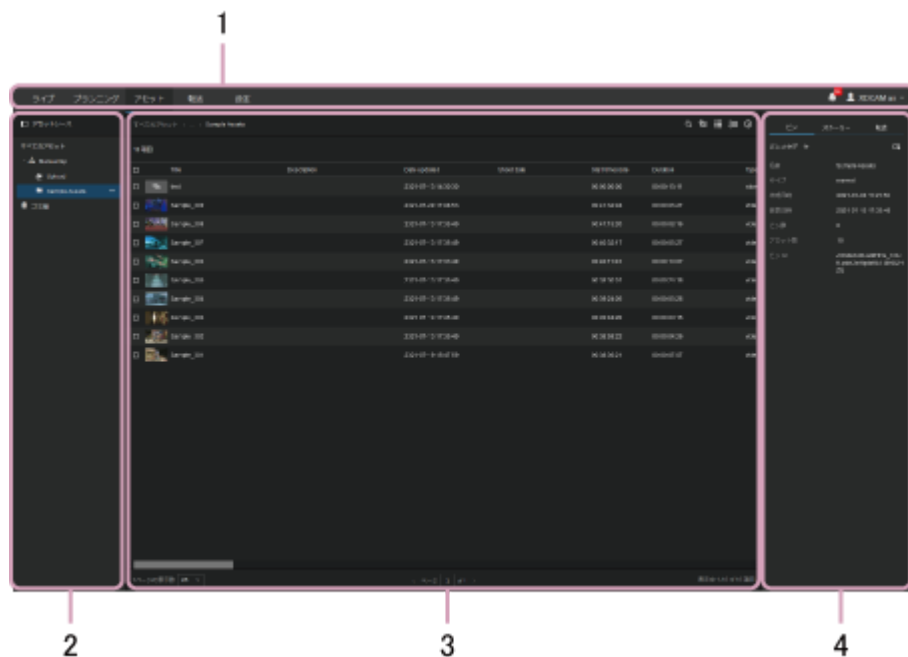
 (編集) ボタンをクリックすると、表示されているストーリーを編集できます。

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

【アセット】画面の構成

【アセット】画面には、アセットに関する情報が表示されます。

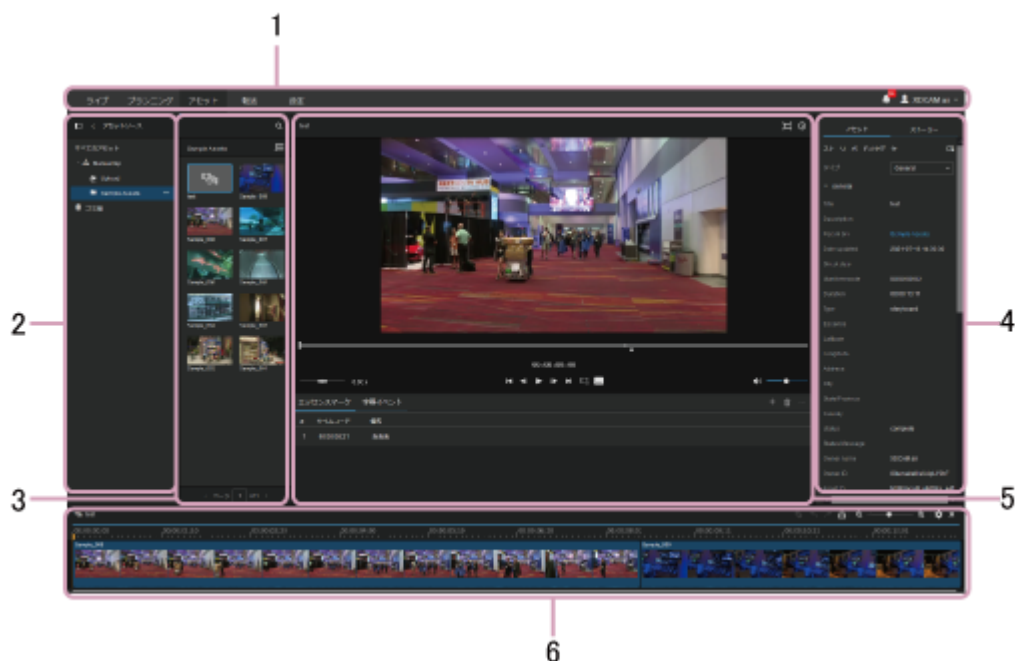
一覧表示時



プレビュー表示時



ストーリーボード表示時



1. グローバルメニュー

パーツをクリックすると、画面間を移動できます。

- [ライブ] : [ライブ] 画面を表示します。
- [プランニング] : [プランニング] 画面を表示します。
- [アセット] : [アセット] 画面を表示します。
- [転送] : [転送] 画面を表示します。
- [設定] : [設定] 画面を表示します。
- (通知) : ユーザーに対する通知を表示します。通知を既読にするには、 (既読にする) を押します。すべての通知を既読にするには、[すべてを既読] を押します。[すべてを削除] を押すと、すべての通知が削除されます。
- (個人設定) : サインアウト、アカウント設定の表示、ヘルプガイドの表示、NRCS Gateway Server AppやC3 Portal/パネルモジュールのダウンロードページの表示、プライバシーポリシーの表示、利用規約の表示などを行います。

2. ツリーパネル

アセットを格納しているビンがツリー形式で表示されます。

ビンアイコンの色は、FTPファイルの転送状態を示しています。

ビンを選択し、 (メニュー) ボタンを選択するとコンテキストメニューが表示されます。

- [ビンの作成] : ビンを新規作成します。
- [ビンの名前変更] : ビンの名前を変更します。
- [アップロード] : ファイルをビンにアップロードします。
- [ストーリーボードの作成] : ストーリーボードを新規作成します。
- [転送設定] : ビン内のアセットを転送するFTPサーバー、S3ストレージ、またはSony Ciサービスを選択します。
- [ストーリーのリンク] : ビンにストーリーメタデータをリンクします。
- [ビンの削除] : ビンを削除します。

3. アセットリスト








ツリーパネルで選択したビンに格納されているアセットが表示されます。表示されるアセットが多い場合は、ページを分割して表示します。

ビン間でアセットを移動/コピーするには、ドラッグ&ドロップを使用します。

サムネイルにマウスを置くと、簡単なプレビューが表示されます。サムネイルには、再生位置を示す線が表示されます。

[共有リンク] を押すと作成済みの共有リンクの一覧がダイアログで表示されます。






アセットリストの表示内容を切り替えるには以下のボタンを使用します。

-  (検索) ボタン：クリックして文字列を入力すると、アセットを検索できます。 (高度な検索) ボタンをクリックすると、表示されるアセットにフィルターを適用することができます。
-  (表示列の設定) ボタン：アセットリストに表示される項目を選択します。
-  (リスト表示) ボタン：アセットをリスト形式で表示します。
-  (グリッド表示) ボタン：アセットをグリッド形式で表示します。
-  (表示順) ボタン：アセットの表示順を変更します。
-  (プロパティ) ボタン：情報パネルの表示／非表示を切り替えます。

ご注意

- 「" ¥ ()」を含む文字列を検索する場合は、文字列を入力する際に該当する文字をエスケープする必要があります。例えば「"」を検索したいときは「¥"」と入力します。

選択したアセットに対する操作を行うには以下のボタンを使用します。

-  (共有) ボタン：アセットの共有リンクを作成します。
-  (プレビュー) ボタン：アセット詳細画面を表示して、アセットをプレビューします。
-  (ストーリーボードの作成) ボタン：ストーリーボードを新規作成します。
-  (ダウンロード) ボタン：アセットをダウンロードします。ダウンロードするファイルとファイル名を選択できます。
-  (削除) ボタン：アセットを削除します。

ご注意

- インターレース記録されたプロキシファイルをブラウザで表示し、ズーム倍率を変更すると、表示している映像が乱れることがあります。

4. 情報パネル


ツリーパネルで選択しているビンまたはアセットリストで選択しているアセットのメタデータとリンクされているストーリーメタデータが表示されます。また、ビンを選択している場合は転送設定が表示されます。メタデータ、ストーリーメタデータおよび転送設定は編集可能です。

ご注意

- 複数のクライアントが同じメタデータを同時に編集した場合、最後に保存した内容が有効になります。

5. プレビューエリア

アセットのプレビューが表示されます。

プレビューエリアを表示するには、アセットを選択して (プレビュー) ボタンをクリックします。

プレビューエリアではマークインとマークアウトを設定できます。

設定したマークインとマークアウトでアセットをストーリーボードに追加したり、カムコーダーからハイレゾをFTP転送させたり、チャンクファイル転送中のアセットのサブクリップを作成したりできます。

また、エッセンスマークの操作や字幕の追加も行えます。

6. タイムライン

ストーリーボードの編集に使用します。

タイムラインを表示するには、アセットリストでストーリーボードを作成するか、作成済みのストーリーボードを選択します。

ストーリーボードの操作

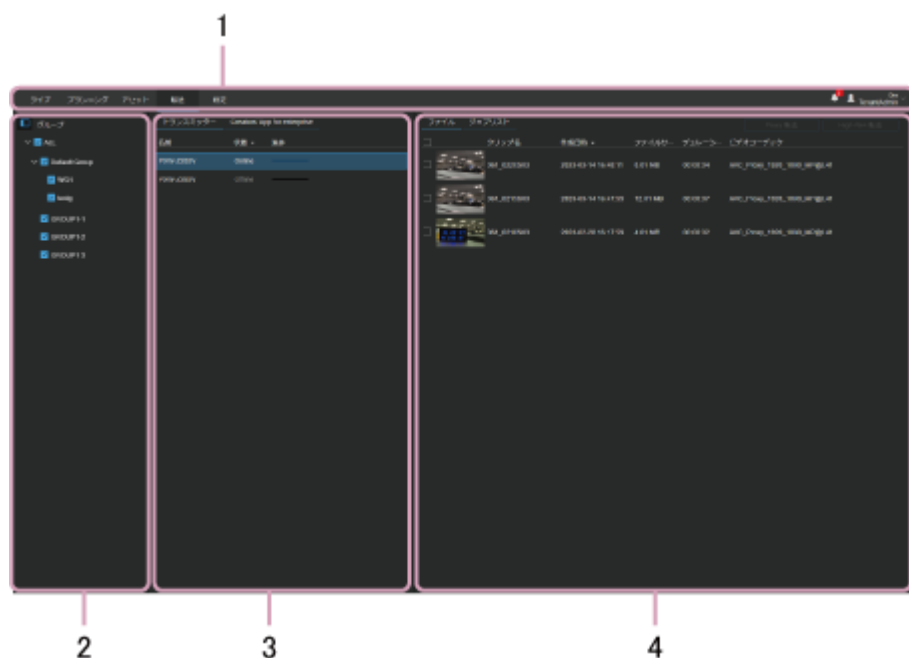
ストーリーボードでは以下のショートカットキーを使用できます。

ショートカットキー	操作
スペースキー	再生／一時停止を切り替え
S	映像の全画面表示を切り替え

ショートカットキー	操作
. (ピリオド)、→ (右矢印) キー	1フレーム進む
, (コンマ)、← (左矢印) キー	1フレーム戻る
L、F	順方向にシャトル
K	再生を一時停止
J、D	逆方向にシャトル
M	エッセンスマークを追加
Ctrl+M	次のエッセンスマークに移動
Shift+Ctrl+M	前のエッセンスマークに移動
Ctrl+Alt+M	エッセンスマークを削除
Shift+Ctrl+Alt+M	すべてのエッセンスマークを削除
I	In点をマーク
O	Out点をマーク
Page Upキー	エッセンスマークテーブルを上へ移動
Page Downキー	エッセンスマークテーブルを下へ移動
R、Ctrl+K	再生ヘッド位置でレーザー編集カット

【転送】画面の構成

【転送】画面は、カムコーダーやモバイルAppからプロキシファイルをC3 Portalに転送したり、高解像度（ハイレゾ）ファイルをFTPサーバーにアップロードしたりするために使用します。また、転送するクリップの指定や、転送ジョブの制御を行うこともできます。



1. グローバルメニュー

パーツをクリックすると、画面間を移動できます。

- **【ライブ】**：【ライブ】画面を表示します。
- **【プランニング】**：【プランニング】画面を表示します。
- **【アセット】**：【アセット】画面を表示します。
- **【転送】**：【転送】画面を表示します。
- **【設定】**：【設定】画面を表示します。
- **🔔（通知）**：ユーザーに対する通知を表示します。通知を既読にするには、**🔔（既読にする）**を押します。すべての通知を既読にするには、**【すべてを既読】**を押します。**【すべてを削除】**を押すと、すべての通知が削除されます。
- **👤（個人設定）**：サインアウト、アカウント設定の表示、ヘルプガイドの表示、NRCS Gateway Server AppやC3 Portalパネルモジュールのダウンロードページの表示、プライバシーポリシーの表示、利用規約の表示などを行います。

2. 【グループ】エリア

グループがツリー形式で表示されます。ソースエリアに表示する機器を含むグループを選択します。

3. ソースエリア

【トランスミッター】タブ

転送するファイルが格納されているカムコーダーがリスト形式で表示されます。

【Creators' App for enterprise】タブ

C3 PortalにログインしているモバイルAppがリスト形式で表示されます。

4. ファイル表示エリア

【ファイル】タブ

ソースエリアで【トランスミッター】タブを選択している場合のみ表示されます。ソースエリアで選択した機器に格納されているファイルのリストが表示されます。リストのサムネイルに「Chunk」と表示されているファイルはチャンクファイル転送モードで記録されたファイルです。転送するファイルを選択するには、各ファイルの横にあるチェックボックスにチェックを入れます。

- 【Proxy転送】ボタン：選択したファイルのプロキシファイルを転送ジョブリストに追加します。ファイルは、【設定】画面の【アップロード】ページで指定されているサーバーに転送されます。転送されたファイルは、カムコーダーのオートアップロード機能を使用したときと同様に、【アセット】画面の【Upload】ビンに保存されます。GUIで転送先を選択する必要はありません。
- 【High-Res転送】ボタン：選択したファイルのハイレゾファイルを転送ジョブリストに追加します。カムコーダーにアップロード先として登録されている外部サーバーの中から転送先サーバーを選択します。
- 【プレビュー】ボタン：選択したファイルがプレビュー画面に表示されます。プレビュー画面でマークイン/マークアウトを指定すると、その部分だけを転送することができます。また、プレビュー画面にはエッセンスマークとメタデータが表示されます。

ご注意

- 【プレビュー】ボタンは、ファイルを選択したときにリストの上に表示されます。
- 【Proxy転送】ボタンと【High-Res転送】ボタンは、リストの...（メニュー）ボタンをクリックして表示されるコンテキストメニューから選択することもできます。
- カムコーダーがPXW-Z280/Z190/FX9/Z750/Z450/X400の場合は、C3 Portalに登録されている転送先が、High-Res転送の転送先としても表示されます。

【ジョブリスト】タブ

ファイル転送ジョブのリストと、現在の転送状況が表示されます。

- 【削除】：選択したジョブをリストから削除します。
- 【完了ジョブのクリア】：FTPサーバーへの転送が完了したジョブをリストから削除します。

【設定】画面の構成

【設定】画面は管理者が使用します。画面構成および設定操作については、ヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

モバイル機器用Web画面の構成

モバイル機器用の「プランニング」画面には、ログイン中のユーザーに割り当てられたプランニングメタデータ（ストーリー）が表示されます。この画面は、ストーリーを送信し、カムコーダーにロードするために使用します。また、「バックアップ/リストア」画面では、カムコーダーの設定のバックアップとリストアを行います。

ご注意

- ストーリーをカムコーダーにロードしたり、設定のバックアップとリストアを行ったりするには、カムコーダーがネットワーククライアントモードに設定されている必要があります。



1. メニュー

以下のメニューが表示されます。

- 「プランニング」：「プランニング」画面を表示します。
- 「バックアップ/リストア」：「バックアップ/リストア」画面を表示します。
- 「トランスミッター選択」：トランスミッターを選択します。
- 「サインアウト」：サービスからサインアウトします。

2. トランスミッター

選択したカムコーダーが表示されます。

表示されているカムコーダーをタップすると、カムコーダーに格納されているプランニングメタデータ（ストーリー）のリストが表示されます。

別のカムコーダーを選択するには、メニューから「トランスミッター選択」を選択します。

3. プランニングメタデータ

サインインしたユーザーに割り当てられているプランニングメタデータ（ストーリー）が表示されます。

表示されているストーリーをタップすると、詳細が表示されます。

詳細画面からカムコーダーにストーリーを転送し、ロードすることができます。

4. バックアップ/リストア

【トランスミッター】で選択したカムコーダーの設定をバックアップ／復元するために使用します。

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

カムコーダーをモバイルAppと接続する

カムコーダーをモバイルAppと接続して使用する場合は、以下の手順で行います。

- 1 カムコーダーをモバイルAppがインストールされたスマートフォンとUSBケーブルで接続する。
- 2 スマートフォンのUSBデザリング機能を有効にする。
- 3 モバイルAppを起動してログインする。
- 4 モバイルAppでカムコーダーに接続する。

ご注意

- モバイルAppの操作について詳しくは、モバイルAppのヘルプガイドをご覧ください。

カムコーダーをネットワーククライアントモードに設定する

ネットワーク対応カムコーダーを撮影に使用する場合は、以下の手順に従いカムコーダーをネットワーククライアントモードに設定します。

- 1 LTEモデムをカムコーダーに接続する。
- 2 カムコーダーの電源を入れる。
- 3 カムコーダーの設定メニューを開く。
- 4 ネットワーククライアントモードの設定を行う。
- 5 ネットワーククライアントモードをオンにする。

ご注意

- 接続と設定について詳しくは、カムコーダーのマニュアルをご覧ください。
- 設定に必要な情報は、本サービスの「設定」画面の「機器認証」ページに表示されます。
- カムコーダーの時刻とタイムゾーンを正しく設定し、PWS-110RX1A/PWA-RX1と同期させてください。

XDCAM pocketを起動する

XDCAM pocketをインストールしたスマートフォンをストリーミング機器として使用する場合は、XDCAM pocketを起動します。詳しくは、XDCAM pocketのヘルプをご覧ください。

ストリーミングを開始する

ご注意

- ストリーミングを行うには、カムコーダー、またはカムコーダーに接続されたワイヤレスアダプターがネットワーククライアントモードに設定されている必要があります。

以下の手順で、[ライブ] 画面からストリーミングを開始/停止します。
撮影に使用するカムコーダーを指定し、ストリーミングの送信を有効にします。

- 1 [グループ] エリアで、ストリーミングに使用する機器が登録されているグループを選択する。
- 2 [トランスミッター] / [リスナー] エリアで [トランスミッター] タブを選択し、サムネイルが表示されているカムコーダーまたはXDCAM pocketを選択する。
- 3 ストリーミング情報エリア> [ストリーミング] タブの [帯域] で、ストリーミングの最大ビットレートを選択する。

ご注意

- XDCAM pocketからクラウドレシーバーに対してストリーミングを行う場合は、[帯域] を [Auto] 以外に設定してください。[帯域] を [Auto] に設定していると、ストリーミングを開始することはできませんがエラーが発生します。なお、XDCAM pocketからPWS-110RX1A/PWA-RX1に対してストリーミングを行う場合は、このエラーは発生しません。

- 4 [ストリーミング] タブの [コーデック] で、ストリーミングに使用するコーデックを選択する。

ご注意

- ストリーミングに使用する機器がH.265/HEVCに対応していない場合、コーデックはH.264/AVCに設定されます（固定）。
- ストリーミング中はコーデックを変更できません。

- 5 [ストリーミング] タブの [ディレイ] で、ストリーミング映像の遅延時間を選択する。

- 6 [ストリーミング] タブの [ストーリー選択] で、カムコーダーに割り当てるストーリーを選択する。

ストリーミング映像をクラウド収録する場合、クラウド収録されたファイルに対してここで選択したストーリーが割り当てられます。

ヒント

- ストーリーを割り当てずにクラウド収録を行うこともできます。
- ストーリーの割り当てを解除するには、[クリア] をクリックしてください。

- 7 ストリーミング情報エリア> [ストリーミング] タブの [出力先（メイン）] / [出力先（サブ）] で、出力するSDIポートグループを選択する。

8 「ストリーミング」タブの「開始」をクリックする。

ストリーミング映像の配信が開始されます。

ご注意

- 「トランスミッター」 / 「リスナー」 エリアのカムコーダーまたはXDCAM pocketを「レシーバー」エリアのレシーバーにドラッグ&ドロップしてストリーミングを開始することもできます。

ストリーミングを停止するには

「ストリーミング」タブの「停止」をクリックします。

ストリーミングを出力するSDIポートを予約するには

ストリーミング開始時に使用するSDI出力ポートは、「ストリーミング」タブの「ポート予約」で予約できます。予約したポートは、他のストリームの「出力先（メイン）」で選択できなくなります。

ご注意

- 「ストリーミング」タブの「ディレイ」はストリーミング中も変更できますが、値を変更する際にストリーミング出力が一瞬中断されることがあります。

SRTストリーミングを開始する

ご注意

- SRTストリーミングを行うには、SRTストリームを送信する外部機器がSRTコーラーに設定されている必要があります。


以下の手順で、［ライブ］画面からSRTストリーミングを開始／停止します。

SRTストリーミングに使用するSRTリスナーを指定し、ストリーミングの送信を有効にします。

① 〔グループ〕エリアで、SRTストリーミングに使用する機器が登録されているグループを選択する。

② 〔トランスミッター〕／〔リスナー〕エリアで〔リスナー〕タブを選択し、SRTリスナーを選択する。

③ SRTストリームを送信する外部機器に対してSRTリスナーの情報を設定する。

SRTリスナーの情報は、（メニュー）ボタン＞〔詳細〕の順に押して〔SRTリスナー〕ダイアログを表示させて確認してください。

外部機器には、以下の形式で値を設定します。

srt://<アドレス>:<ポート番号>?passphrase=<パスフレーズ>

④ ストリーミング情報エリア＞〔ストリーミング〕タブの〔フレームレート〕と〔レイテンシ〕を設定する。

〔フレームレート〕には、送信されるSRTストリームと同じ値を選択してください。

⑤ 〔ストリーミング〕タブの〔ストーリー選択〕で、リスナーに割り当てるストーリーを選択する。

ストリーミング映像をクラウド収録する場合、クラウド収録されたファイルに対してここで選択したストーリーが割り当てられます。

ヒント

- ストーリーを割り当てずにクラウド収録を行うこともできます。
- ストーリーの割り当てを解除するには、〔クリア〕をクリックしてください。

⑥ 〔ストリーミング〕タブの〔出力先（メイン）〕／〔出力先（サブ）〕で、出力するSDIポートグループを選択する。

ご注意

- 〔出力先（メイン）〕／〔出力先（サブ）〕で選択できるのはクラウドレシーバーのみです。

⑦ 〔ストリーミング〕タブの〔開始〕をクリックする。

リスナーの状態が「Running」になると、SRTストリーミングを受信可能になります。

ご注意

- リスナーの状態が「Starting」の時は受信できません。

- [トランスミッター] / [リスナー] エリアのSRTリスナーを [レシーバー] エリアのレシーバーにドラッグ&ドロップして開始することもできます。

8 外部機器からSRTストリームの送信を行う。

SRTストリーミングを停止するには

[ストリーミング] タブの [停止] をクリックします。また、外部機器からのSRTストリームの送信も停止してください。

SRTストリーミングを出力するSDIポートを予約するには

SRTストリーミング開始時に使用するSDI出力ポートは、[ストリーミング] タブの [ポート予約] で予約できます。予約したポートは、他のストリームの [出力先 (メイン)] で選択できなくなります。

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

ストリームをファイルに保存する

カムコーダーからのストリーミング映像を自動的にファイルに保存し、アセットとして登録することができます。ストリーミングを開始する前に、カムコーダーまたはSRTリスナーに対してストーリーを割り当てることができます。

1 ストリーミングを開始する。

ご注意

- 「[設定] 画面の [クラウド収録] ページで [ストリーミング時の自動収録] が [ON] になっている場合は、自動的に記録が開始されます。詳しくは、ヘルプガイド（設定編）をご覧ください。
- XDCAM pocketからクラウドレシーバーに対してストリーミングを行う場合は、[帯域] を [Auto] 以外に設定してください。[帯域] を [Auto] に設定していると、ストリーミングを開始することはできますがエラーが発生します。なお、XDCAM pocketからPWS-110RX1A/PWA-RX1に対してストリーミングを行う場合は、このエラーは発生しません。

2 ストリーミング情報エリアの [記録] ボタンをクリックする。

ファイルへの記録が開始され、ストリーミング情報エリアにファイルの記録時間が表示されます。記録中にファイルをプレビューするには、[プレビュー] ボタンをクリックします。プレビュー操作について詳しくは、「[記録中にファイルをプレビュー／トリミングする](#)」をご覧ください。

3 記録を停止する。

ストリーミングが停止します。

保存したファイルは [アセット] 画面で確認できます。トランスミッターが所属するグループの [Live Recording] ビン内に [設定] 画面で設定した名前のビンが作成され、そのビンにアセットが保存されます。

ご注意

- アセットのファイル名は、トランスミッターの名前に、記録した日付と時刻で決まるサフィックスを追加したものになります。
- 時刻は、[設定] 画面で指定したタイムゾーンに応じて決まります。
- ストリーミングが停止するとアセットが作成されます。
- ストリームを連続して記録できる時間は、最大3時間です。SNSへのキャスト中に記録する場合、最大連続記録時間は1時間です。
- 記録を停止するときは、30秒程度余分に記録してから停止してください。そうしないと、表示の遅延により、記録した映像が短くなる場合があります。
- HEVCストリーミングは常にプログレッシブで記録されます。

クラウドレシーバーを使用してストリームを記録する

PWS-110RX1A/PWA-RX1を搭載していないシステム、またはSNSへのキャスト中にストリームを記録する場合は、クラウドレシーバーを使用します。

記録を行うには、ストリーミング情報エリアの [出力先（メイン）] で作成したクラウドレシーバーを選択し、ストリーミングを開始して、[記録] ボタンをクリックします。

クラウドレシーバーの作成方法について詳しくは、「[クラウドレシーバーを作成する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [クラウドレシーバーを作成する](#)
- [記録中にファイルをプレビュー／トリミングする](#)

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

SNSまたは外部システムへのストリーミングを行う

カムコーダーからのストリーミング映像を、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）または外部システムに自動的に配信できます。そのためには、クラウドレシーバーを作成する必要があります。

- 1 [ライブ] 画面の [レシーバー] エリアで、**+**（作成）ボタンをクリックする。

[クラウドレシーバー作成] ダイアログが表示されます。

- 2 [ストリーム] の [ストリーム配信] にチェックを入れる。

- 3 [名前]、[グループ]、[プリセット名] を指定する。

[プリセット名] では、クラウドレシーバーの種類を決定します。[ストリーム配信設定] の [出力1] / [出力2] の [プリセット名] で選択できる値は、この設定によって異なります。

- 4 SNSまたは外部システムにストリーミングするための設定を行う。

- [ウォーターマーク]：ストリーミング映像にウォーターマークを表示する場合に、あらかじめ設定してあるウォーターマークを選択します。ウォーターマークの設定は、[設定] 画面の [ウォーターマーク] ページで行います。
- [出力1] / [出力2]：ストリーミングに使用する各出力にチェックを入れ、出力フォーマット、エンドポイント、ストリームキーを設定します。
- [プリセット名]：ストリーミングのプリセットを選択します。
- [エンドポイント]：SNSまたは外部システムのエンドポイントを指定します。

- [ストリームキー] : SNSまたは外部システムのストリームキーを指定します。

ご注意



- SNSまたは外部システムをあらかじめストリーミング可能な状態にしておく必要があります。ストリーミングをセットアップする際には、SNSまたは外部システムで取得するエンドポイントとストリームキーの値をストリームキャスターに設定します。

5 [作成] ボタンをクリックする。

[レシーバー] エリアにクラウドレシーバーが作成されます。

6 ストリーミングを開始する場合は、ストリーミングを行うトランスミッターをクラウドレシーバーにドラッグ&ドロップする。

ご注意

- SNSにストリームを連続して配信できる時間は、最大3時間です。
- 記録開始後の各出力の状況は、クラウドレシーバーのアイコン () で確認してください。準備中は点滅し、開始されると点灯します。
また、[クラウドレシーバー] ダイアログの[状態] と [統計] で確認することもできます。[クラウドレシーバー] ダイアログを表示させるには、クラウドレシーバーを選択して  (メニュー) ボタンをクリックし、表示されるメニューから[詳細]を選択します。
- XDCAM pocketからクラウドレシーバーに対してストリーミングを行う場合は、[帯域] を [Auto] 以外に設定してください。[帯域] を [Auto] に設定していると、ストリーミングを開始することはできますがエラーが発生します。なお、XDCAM pocketからPWS-110RX1A/PWA-RX1に対してストリーミングを行う場合は、このエラーは発生しません。

ストリーミングを停止するには

[ストリーミング] タブの [停止] をクリックします。

クラウドレシーバーを作成する

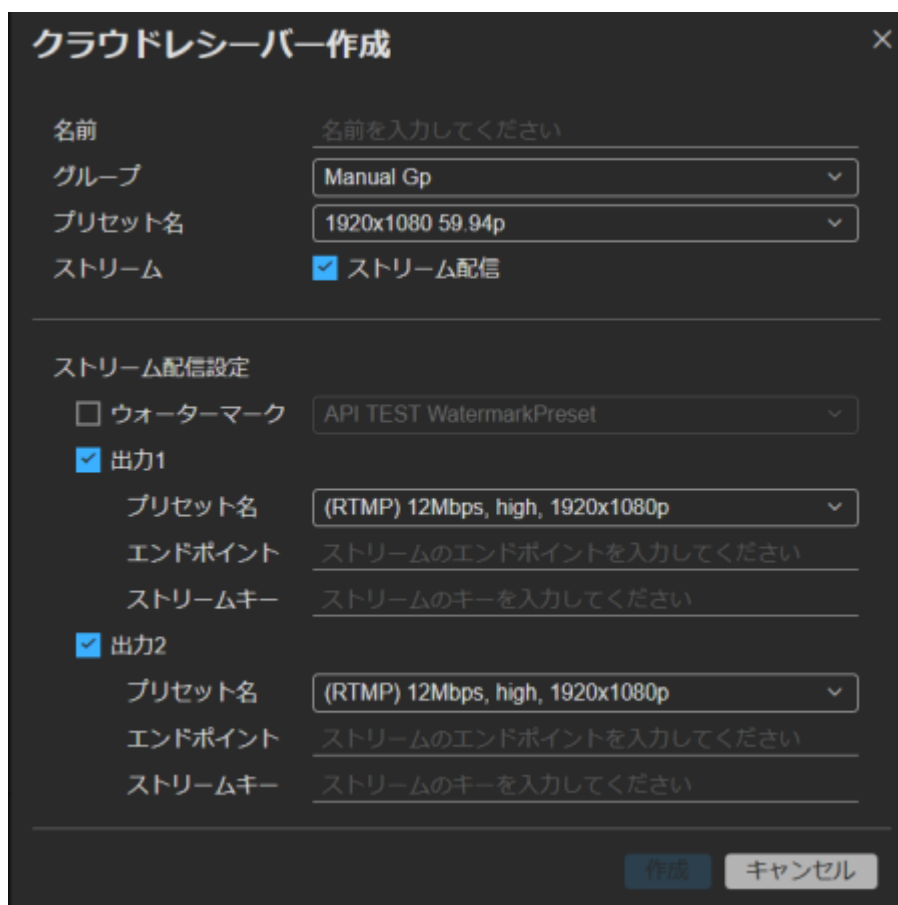
ご注意

- トランスミッターのコーデックがHEVCに設定されている場合、この機能は使用できません。

1 「ライブ」画面の「レシーバー」エリアで \oplus （作成）ボタンをクリックする。

「クラウドレシーバー作成」ダイアログが表示されます。

2 「名前」と「グループ」を指定する。



クラウドレシーバー作成

名前: 名前を入力してください

グループ: Manual Gp

プリセット名: 1920x1080 59.94p

ストリーム: ☒ ストリーム配信

ストリーム配信設定

☐ ウォーターマーク: API TEST WatermarkPreset

☒ 出力1

プリセット名: (RTMP) 12Mbps, high, 1920x1080p

エンドポイント: ストリームのエンドポイントを入力してください

ストリームキー: ストリームのキーを入力してください

☒ 出力2

プリセット名: (RTMP) 12Mbps, high, 1920x1080p

エンドポイント: ストリームのエンドポイントを入力してください

ストリームキー: ストリームのキーを入力してください

作成 キャンセル

3 「プリセット名」を指定する。

「プリセット名」では、クラウドレシーバーの種類を決定します。「ストリーム配信設定」の「出力1」/「出力2」の「プリセット名」で選択できる値は、この設定によって異なります。また、作成されるアセットのフォーマットは、クラウドレシーバーによって異なります。

4 SNSなどの出力先にキャストする場合は「ストリーム配信」にチェックを入れ、キャストを行わずにストリームを記録する場合はチェックを外す。

「ストリーム配信」にチェックを入れずに作成したクラウドレシーバーは、PWS-110RX1A/PWA-RX1を搭載していないシステム構成でもストリームの保存に使用できます。詳しくは、下記の「PWS-110RX1A/PWA-RX1を使用しないシステム構成でストリームをファイルに保存するには」を参照してください。

5 **【ストリーム配信】にチェックを入れた場合は、SNSなどの出力先にストリーミングするための設定を行う。**

- **【ウォーターマーク】**：ストリーミング映像にウォーターマークを表示する場合に、あらかじめ設定してあるウォーターマークを選択します。ウォーターマークの設定は、**【設定】**画面の**【ウォーターマーク】**ページで行います。
- **【出力1】 / 【出力2】**：ストリーミングに使用する各出力にチェックを入れ、出力フォーマット、エンドポイント、ストリームキーを設定します。
- **【プリセット名】**：ストリーミングのプリセットを選択します。
- **【エンドポイント】**：エンドポイントを指定します。
- **【ストリームキー】**：ストリームキーを指定します。システムによっては、この設定が無効になっている場合があります。

6 **【作成】 ボタンをクリックする。**

【レシーバー】 エリアにクラウドレシーバーが作成されます。

PWS-110RX1A/PWA-RX1を使用しないシステム構成でストリームをファイルに保存するには

- クラウドレシーバーを登録する際、手順4の**【ストリーム配信】**のチェックを外します。
- ストリーミング情報エリアの**【出力先（メイン）】**で登録したクラウドレシーバーを選択して、ストリーミングを開始します。

インターレースアセットの作成時

- クラウドレシーバーを登録する際、手順3の**【プリセット名】**でインターレースフォーマットを選択します。
- カムコーダーの記録フォーマットまたはワイヤレスアダプターの入力設定をインターレースに設定します。
- **【設定】**画面の**【クラウド収録】**タブの**【インターレース/プログレッシブ】**で**【入力ソースに従う】**を選択します。
- ストリーミング情報エリアの**【帯域】**で**【Very High】**、**【High】**、または**【High (F)】**を選択し、ストリーミングを開始します。

50p/60pアセットの作成時

- クラウドレシーバーを登録する際、手順3の**【プリセット名】**でプログレッシブフォーマットを選択します。
- カムコーダーの記録フォーマット、ワイヤレスアダプターの入力設定、またはXDCAM pocketのカメラ設定を50p/60pに設定します。
- ストリーミング情報エリアの**【帯域】**で**【Very High】**、**【High】**、または**【High (F)】**を選択し、ストリーミングを開始します。

関連項目

- [ストリームをファイルに保存する](#)

インターカムを使用する

インターカム機能を備えたカムコーダーを使用して、放送局と現場の間で通話を行うことができます。通信に使用するストリームレシーバー（PWS-110RX1A）のチャンネルは、あらかじめカムコーダーごとに指定しておく必要があります。

ご注意

- 設定方法について詳しくは、ヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

1 [ライブ] 画面の [ストリーミング] タブで [インカム] スイッチをONにする。

[インカム] スイッチには、インターカム機能の状態が表示されます。

- （空白）：レシーバー音声チャンネルが有効なポートになっていない
- Offline：送信側または受信側のインターカムモジュールがオフラインになっている
- Not available：送信側または受信側のインターカムが使用できない
- In use：受信側のオーディオチャンネルを他のトランスミッターが使用している
- Not connected：接続準備が完了している
- Connecting…：インターカム通信を開始／停止中
- Connected：インターカムが動作中
- Unstable：接続が不安定

ご注意

- インターカムを起動する前に、インターカムモジュールを有効にして、対応するオーディオ機器を送信側と受信側の両方に挿入する必要があります。詳しくは、トランスミッターとレシーバーのマニュアルをご覧ください。

2 インターカム通話を行う。

設定したインターカムシステムとオンラインのカムコーダーとの間で通話を開始できます。

ご注意


- インターカム通話はストリーミング中でも使用できます。
- インターカム機能を使用する際の他の制限事項については、トランスミッターのマニュアルをご覧ください。

C3 Portalを使用してストーリーを作成する

ご注意

- NRCSから受信したストーリーと、C3 Portalで作成したストーリーに対応しています。
- C3 Portalでストーリーを作成するには、あらかじめ［設定］画面の［プランニングI/F］ページでローカルタイプのプランニングインターフェースを登録しておく必要があります。
プランニングインターフェースの登録について詳しくは、ヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

以下の手順で、C3 Portalを使用してストーリーを新規に作成します。

- ① **［プランニング］画面でローカルタイプのプランニングインターフェースが割り当てられているグループを選択する。**
- ② **ストーリー操作エリアの （ストーリーの作成）ボタンをクリックする。**
- ③ **表示されたダイアログで、ストーリーのタイトルやその他のメタデータ値を必要に応じて入力する。**
［インポート］ボタンをクリックして、別途作成したCall Sheetの内容を読み込むこともできます。


ご注意

 - エンコーダーに割り当てるストーリーのタイトルには、スペースとセミコロンを使用しないでください。タイトルにスペースまたはセミコロンが使用されているストーリーをエンコーダーに割り当てると、エンコーダーから本サービスに映像ファイルがアップロードされません。
- ④ **［作成］ボタンをクリックする。**

ストーリーを削除するには

リストからストーリーを選択し（複数選択可）、（ストーリーの削除）ボタンをクリックします。

ストーリーを編集するには

リストからストーリーを選択し、（ストーリーの編集）ボタンをクリックします。

ストーリーをカムコーダーに割り当てる

ストーリーをカムコーダーに割り当てるには、【プランニング】画面で以下の操作を行います。

ご注意

- 以下の操作を行わなくても、自動でストーリーをカムコーダーに割り当てるように設定することもできます。詳しくはヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

- 1 割り当てるストーリーをストーリー操作エリアに表示する。
- 2 割り当てるストーリーのチェックボックスにチェックを入れる。
- 3 【グループ】エリアで、ストーリーを割り当てたいカムコーダーが含まれるグループを選択する。
- 4 割り当て対象選択エリアで、対象となるカムコーダーのチェックボックスにチェックを入れる。
- 5 【アサイン】ボタンをクリックする。

ご注意

- 既存のものと同じタイトルのストーリーをカムコーダーに割り当てると、前のストーリーが上書きされます。
- ストーリーをカムコーダーにロードする場合は、送信とロードが必要です。詳しくは、「ストーリーをカムコーダーにロードする」をご覧ください。
- ネットワークタイプのプランニングインターフェースからストーリーを受信するグループの場合、割り当てたストーリーの状況は、C3 Portalとプランニングインターフェースが通信できる状態にないと更新されません。
- ストーリーを選択し、...（メニュー）ボタンから【詳細…】をクリックすると【詳細】ダイアログが表示されます。【詳細】ダイアログでは、送信ステータスの詳細を確認することができます。
- カムコーダーに格納できるストーリー数には上限があります。詳しくは、カムコーダーの取扱説明書を参照してください。

複数のストーリーをカムコーダーに割り当てるには

ストーリー操作エリアで、複数のストーリーのチェックボックスにチェックを入れます。

ストーリーを複数のカムコーダーに割り当てるには

割り当て対象選択エリアで、対象となる複数のカムコーダーのチェックボックスにチェックを入れます。

ご注意

- ストーリーがどのカムコーダーに割り当てられているかは、ストーリー操作エリアでストーリーを選択し、...（メニュー）ボタンから【詳細…】をクリックして表示される【詳細】ダイアログで確認できます。

ストーリーの詳細を確認するには

ストーリー操作エリアでストーリーを選択すると、ストーリー情報エリアに詳細が表示されます。

ストーリーの割り当てをキャンセルするには

「アサイン済メタデータ」エリアで割り当てをキャンセルしたいストーリーを選択し、（削除）をクリックします。

ご注意

- 「アサイン済メタデータ」エリアのステータス表示は自動で更新されません。「再読み込み」ボタンをクリックして表示を更新してください。

関連項目

- [ストーリーをカムコーダーにロードする](#)

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

ストーリーをユーザーに割り当てる

ストーリーをユーザーに割り当てるには、［プランニング］画面で以下の操作を行います。

ご注意

- 以下の操作を行わなくても、自動でストーリーをユーザーに割り当てるように設定することもできます。詳しくはヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

- 1 割り当てるストーリーをストーリー操作エリアに表示する。
- 2 割り当てるストーリーのチェックボックスにチェックを入れる。
- 3 ［グループ］エリアで、ストーリーを割り当てたいユーザーが含まれるグループを選択する。
- 4 割り当て対象選択エリアで、対象となるユーザーのチェックボックスにチェックを入れる。
- 5 ［アサイン］ボタンをクリックする。

ご注意

- 割り当てられたストーリーは、モバイルAppから、またはモバイル機器でC3 Portalにアクセスして確認することもできます。
- ストーリーをカムコーダーにロードする場合は、送信とロードが必要です。
詳しくは、「ストーリーをモバイル機器用Web画面からロードする」をご覧ください。


複数のストーリーをユーザーに割り当てるには

ストーリー操作エリアで、複数のストーリーのチェックボックスにチェックを入れます。

ストーリーを複数のユーザーに割り当てるには

割り当て対象選択エリアで、対象となる複数のユーザーのチェックボックスにチェックを入れます。

ご注意

- ストーリーがどのカムコーダーに割り当てられているかは、ストーリー操作エリアでストーリーを選択し、（メニュー）ボタンから［詳細…］をクリックして表示される［詳細］ダイアログで確認できます。

ストーリーの詳細を確認するには

ストーリー操作エリアでストーリーを選択すると、ストーリー情報エリアに詳細が表示されます。

ストーリーの割り当てをキャンセルするには

［アサイン済メタデータ］エリアで割り当てをキャンセルしたいストーリーを選択し、（削除）をクリックします。

ご注意

- [アサイン済メタデータ] エリアのステータス表示は自動で更新されません。[再読み込み] ボタンをクリックして表示を更新してください。

関連項目

- [ストーリーをモバイル機器用Web画面からロードする](#)

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

ストーリーをエンコーダーに割り当てる

ストーリーをエンコーダーに割り当てるには、［プランニング］画面で以下の操作を行います。

ご注意

- 以下の操作を行わなくても、自動でストーリーをエンコーダーに割り当てるように設定することもできます。詳しくはヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

1 割り当てるストーリーをストーリー操作エリアに表示する。

ご注意

- エンコーダーには、タイトルにスペースまたはセミコロンが使用されているストーリーを割り当てないでください。エンコーダーから本サービスに映像ファイルがアップロードされません。

2 割り当てるストーリーのチェックボックスにチェックを入れる。

3 ［グループ］エリアで、ストーリーを割り当てたいエンコーダーが含まれるグループを選択する。

4 割り当て対象選択エリアで、対象となるエンコーダーのチェックボックスにチェックを入れる。

5 ［アサイン］ボタンをクリックする。

ヒント

- 割り当てたストーリーを使用して、エンコーダーで映像の記録および本サービスへのアップロードを行います。詳しくは、エンコーダーの取扱説明書をご覧ください。


複数のストーリーをエンコーダーに割り当てるには

ストーリー操作エリアで、複数のストーリーのチェックボックスにチェックを入れます。

ストーリーを複数のエンコーダーに割り当てるには

割り当て対象選択エリアで、対象となる複数のエンコーダーのチェックボックスにチェックを入れます。

ご注意

- ストーリーがどのカムコーダーに割り当てられているかは、ストーリー操作エリアでストーリーを選択し、（メニュー）ボタンから［詳細…］をクリックして表示される［詳細］ダイアログで確認できます。

ストーリーの詳細を確認するには

ストーリー操作エリアでストーリーを選択すると、ストーリー情報エリアに詳細が表示されます。

ストーリーの割り当てをキャンセルするには

［アサイン済メタデータ］エリアで割り当てをキャンセルしたいストーリーを選択し、（削除）をクリックします。

ご注意

- [アサイン済メタデータ] エリアのステータス表示は自動で更新されません。[再読み込み] ボタンをクリックして表示を更新してください。

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

ストーリーをカムコーダーにロードする

ストーリーをカムコーダーにロードするには、［プランニング］画面で以下の操作を行います。

- 1 〔グループ〕エリアで、操作するカムコーダーのグループを選択する。
- 2 割り当て対象選択エリアで、ストーリーをロードするカムコーダーを選択する。
- 3 〔TX内プランニングメタデータ〕を選択する。
- 4 表示されたリストから、ロードするストーリーを選択する。
- 5 メニューから［ロード］を選択する。

カムコーダーのストーリーの詳細を確認するには

割り当て対象選択エリアで〔TX内プランニングメタデータ〕を実行してからカムコーダーを選択します。〔トランスミッター内プランニングメタデータ〕ダイアログでストーリーを選択します。ストーリーの詳細を示すウィンドウが開きます。

ストーリーをモバイル機器用Web画面からロードする

モバイル機器でC3 Portalにログインして、自分に割り当てられたストーリーを確認し、カムコーダーにロードすることができます。

- ① モバイル機器でC3 Portalにログインする。
- ② カムコーダーの機種を選択する。
2回目のログインからは選択不要です。
- ③ 自分に割り当てられたストーリーの中から、ロードするものを選択する。
- ④ 詳細を確認し、[送信&ロード] をタップする。
ストーリーがカムコーダーにロードされ、[アサイン状態] が「Sent」になります。

アセットを管理する

カムコーダーからストリーミングまたはアップロードされた映像は、自動的にアセットとしてC3 Portalのビンに格納されます。これらのアセットは「アセット」画面で管理します。

① ツリーパネルで、プロジェクト、タイトル、日付などを基準にビンを選択する。

② アセットリストからアセットを選択する。

③ （プレビュー） ボタンをクリックして、プレビューを表示する。

プレビューエリアが表示され、選択したアセットのプレビュー映像が表示されます。

ヒント


- アセットをダブルクリックしてプレビューを表示することもできます。

④ 必要に応じてマークイン／マークアウトの設定、エッセンスマークや字幕の追加を行う。

⑤ 必要に応じてサブクリップを作成する。

設定したマークインとマークアウトの範囲をサブクリップとして保存できます。

アセットをダウンロードするには

アセットを選択して（ダウンロード） ボタンをクリックすると、ダイアログが表示されます。ダイアログではダウンロードするファイルの種類などを選んでダウンロードできます。

ビンに追加されたアセットをすべて転送するには

指定したビンに格納されているアセットとこれから追加されるアセットを、すべて自動的にFTPサーバー、外部ストレージ、またはSony Ciサービスに転送することができます。

手順1でビンを選択したら、コンテキストメニューで「転送設定」を選択し、転送に使用する接続の種類を選択してください。

ヒント

- 情報パネルの「転送」タブで「転送オプション」チェックボックスにチェックを入れると、以下の機能が有効になります。転送の設定にはMedia Managerの権限が必要です。
 - － 「既に転送済みは送らない」：転送を一度中断して再開したときに未転送のアセットのみが転送されます。
 - － 「記号を「_」に置換する」：アセットのファイル名やフォルダ名に以下の文字が使われている場合、転送時に「_」（アンダーバー）に置き換えられます。
< > : " / ¥ | ? * ~
- アセットをダウンロードまたは転送する際にファイル名を指定できます。
 - － 「Asset Title」を選択すると、ダウンロードまたは転送するアセットのタイトルがファイル名として使用されます。「設定」画面の「全般」ページの「エクスポート/ダウンロード」の設定によっては、ダウンロードまたは転送するMP4のファイル名に「S03」を強制的に追加できます。
 - － 「オリジナル」を選択すると、カムコーダーやモバイルAppからアップロードされたときのファイル名がそのまま使用されます。

＝VTTファイルのファイル名は、「（指定したファイル名）_（文字起こしを実行した言語を表すコード）.VTT」になります。

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

アセットを編集する

「アセット」画面のプレビューエリアでは、表示されているアセットを編集できます。

マークイン/マークアウトの設定

アセットにマークイン/マークアウトを設定するには、プレビューエリアのシークバーの任意の位置を指定して「マークイン」ボタンまたは「マークアウト」ボタンをクリックします。

⋮（メニュー）ボタンから、設定したマークインとマークアウトの範囲をストーリーボードに追加したり、カムコーダーからハイレゾをFTP転送させたりできます。また、チャンクファイル転送中のアセットの場合は、設定したマークインとマークアウトの範囲でサブクリップを作成できます。

マークイン/マークアウトの位置を変更したいときは

シークバー上のマークイン/マークアウトをドラッグして移動させます。

マークイン/マークアウトを削除したいときは

⋮（メニュー）ボタンをクリックして、「マークイン/マークアウトのリセット」を選択します。

エッセンスマークの操作

「エッセンスマーク」タブではアセットにエッセンスマークを追加できます。エッセンスマークの操作には、シークバー上の任意の位置を指定して以下のショートカットキーを使用します。

ショートカットキー	操作
M	エッセンスマークを追加
Ctrl+M	次のエッセンスマークに移動
Ctrl+Shift+M	前のエッセンスマークに移動
Ctrl+Alt+M	選択したエッセンスマークを削除
Ctrl+Alt+Shift+M	すべてのエッセンスマークを削除

字幕イベントの操作

「字幕イベント」タブではアセットの音声を自動で文字起こしできます。文字起こしされた字幕データは、アセットのメタデータとして保持されます。

文字起こしを行うには、「字幕イベント」タブの⋮（メニュー）ボタンから「文字起こしを実行」を選択し、表示されたダイアログで言語を選択して「実行」をクリックします。

文字起こし結果を修正したい場合は、修正したい文字起こし結果の行を選択して⋮（メニュー）ボタンから「編集」をクリックするか、修正したい文字起こし結果の行の右端にある✎（編集）ボタンをクリックします。

ご注意

- 文字起こしの性能には限界があります。
- 文字起こし結果を確認し、不適切な結果は編集した上でご使用ください。

アセットを共有する

本サービスでは、アセットを外部ユーザーと共有することができます。アセットを共有するためには外部ユーザーがアクセスするための共有リンクを作成します。

ご注意

- 共有リンクの作成にはMedia Managerの権限が必要です。

① ツリーパネルで、プロジェクト、タイトル、日付などを基準にピンを選択する。

② アセットリストからアセットを選択する。

ヒント

- 同一グループに属する複数のアセットを選択すると、まとめて共有リンクを作成できます。
- 異なるグループに属するアセットをまとめて共有リンクを作成することはできません。

③ （共有） ボタンをクリックする。


④ 表示されたダイアログで共有リンクの名称、有効期限、対象ファイルを選択し、【作成】 ボタンをクリックする。
共有リンクが生成され、共有リンクのURLと有効期限が表示されます。


作成済みの共有リンクを管理するには

【共有リンク一覧】 をクリックすると、【共有リンク一覧】 ダイアログが表示されます。【共有リンク一覧】 ダイアログでは、過去に生成した共有リンクの確認やURLのコピーが行えます。

ストーリーボードを使用して映像を編集する

ストーリーボードを使用して複数のアセットを編集できます。

- 1 【アセット】画面のアセットリストでストーリーボードに追加するアセットを選択し、（ストーリーボードの作成）ボタンをクリックする。

プレビューエリアの表示中は、プレビューエリアの（メニュー）ボタンから「クリップからストーリーボードを作成」を選択します。

- 2 ダイアログにストーリーボードの名前、説明、開始タイムコードを入力し、ストーリーボードのタイムベースを選択して、【OK】をクリックする。

ご注意

- 選択したアセットのフレームレートが、ストーリーボードのフレームレートになります。

ストーリーボードのプレビューとタイムラインが表示されます。

- 3 アセットリストでストーリーボードに追加する別のアセットを選択する。

アセットのプレビューが表示されます。

- 4 アセットをタイムラインにドラッグ&ドロップするか、プレビューエリアの（メニュー）ボタンから「現在のストーリーボードに追加」を選択する。

アセットがタイムラインに追加されます。

ご注意

- ひとつのストーリーボードに追加する各アセットは、フレームレートが同じである必要があります。

- 5 タイムラインでアセットを選択して、プレビューエリアでマークイン／マークアウトを設定し、必要に応じてエッセンスマークや字幕を追加する。

ご注意

- タイムラインでストーリーボードのタイトルを選択すると、ストーリーボード全体をプレビュー／再生できます。

- 6 編集が終了したら、タイムラインのコンテキストメニューから【エクスポート】を選択する。

- 7 表示されたダイアログの【出力】タブでエクスポート先を選択し、【クレジット】タブでタイトルクレジットを設定する。

ご注意

- 【Video Preset】で選択した内容に応じて表示されるビットレートの値は目安です。実際のエクスポート結果とはビットレートが一致しないことがあります。

- タイトルクレジットは最大5つ設定できます。タイトルクレジットには挿入するタイトル（テキスト）、クレジットの開始タイムコード、長さ、フェードイン、フェードアウトを指定します。
- ウォーターマークを追加することもできます。ウォーターマークを使用する場合は、[設定] 画面の [ウォーターマーク] ページで事前に設定しておく必要があります。

8 [エクスポート] ボタンをクリックする。

9 [終了] ボタンをクリックする。

ノンリニアエディターでEDLを編集する場合は

編集が終了したらタイムラインのコンテキストメニューの [EDLエクスポート] を選択し、表示されたダイアログでEDLのフォーマットと転送タイプを選択します。

FTP転送する場合は、転送先のFTPサーバーを選択します。また、ハイレゾ映像を転送する場合はプリロール/ポストロールの秒数も設定できます。

ご注意

- ハイレゾ映像を転送する場合は、対象となるアセットが格納されているカムコーダーがオンラインである必要があります。
- ファイル転送機能と同様に、ハイレゾ映像の転送先は、カムコーダーであらかじめ設定されているFTPサーバーのみ指定可能です。
- PXW-Z280/Z190/FX9/Z750/Z450/X400カムコーダーでは、ハイレゾ映像のファイル転送先としてC3 Portalに登録されているFTPサーバーも表示されます。

ファイルを転送する

C3 Portalを使用してカムコーダーのファイルをC3 PortalまたはFTPサーバーに転送できます。

ご注意

- 「転送」画面を表示するためには、Live Operatorの権限が必要です。

- 1 「転送」画面のグループエリアでグループを選択する。
- 2 ソースエリアの「トランスミッター」タブでカムコーダーを選択する。
- 3 「ファイル」タブをクリックする。

選択したカムコーダーに格納されているファイルのリストが表示されます。

ご注意

- ソースエリアで「Creators' App for enterprise」タブを選択しているときは、「ファイル」タブは表示されません。

- 4 転送したいファイルのチェックボックスにチェックを入れる。
- 5 プロキシファイルを転送する場合は、「Proxy転送」ボタンをクリックする。ハイレゾファイルを転送する場合は、「High-Res転送」ボタンをクリックする。

選択したファイルがジョブリストに追加され、順次転送が行われます。転送状況を確認するには、「ジョブリスト」タブをクリックして転送ジョブのリストを表示します。

ご注意

- FATフォーマットの記録メディアを使用した場合、ハイレゾファイルを転送することはできません。

ファイルをプレビューするには

「ファイル」タブで、プレビューしたいファイルを選択して▶（プレビュー）ボタンをクリックするか、プレビューしたいファイルをダブルクリックします。プレビュー画面が表示され、選択したファイルの再生が開始されます。プレビュー画面を閉じるには◀（戻る）ボタンをクリックします。

プレビュー表示中のファイルを転送するには

プレビュー画面で「Proxy転送」ボタンまたは「High-Res転送」ボタンをクリックします。

ファイルの一部だけを転送するには

プレビュー画面でマークイン／マークアウトを指定してから、「Proxy転送」ボタンまたは「High-Res転送」ボタンをクリックします。

ご注意

- マークイン／マークアウトを含むファイルが転送されます。カムコーダーの機種やマークイン／マークアウトを指定した位置によって精度が異なります。

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

ノンリニアエディターとの連携を行う

C3 Portalで管理している映像ファイルをNLE（ノンリニアエディター）に登録するには、NLEのC3 Portal拡張機能を使用します。

ご注意

- C3 Portal拡張機能はNLEで動作します。このヘルプガイドが表示されているWebブラウザでは動作しません。
- C3 PortalがサポートしているNLE機器にC3 Portal拡張機能をインストールする必要があります。

1 NLEで [Windows] – [Extensions] – [C3 Portal] を選択する。

C3 Portalパネルが表示され、C3 Portalのログイン画面が表示されます。

ヒント

- パネルのメニューの [設定...] からパネルの設定ができます。

2 C3 Portalにログインする。

C3 Portalのアセットのリストが表示されます。

3 登録するアセットを選択し、コンテキストメニューから [Download] を選択する。

アセットがダウンロードされ、NLEに登録されます。
アセットをダブルクリックしてダウンロードすることもできます。

ヒント

- C3 Portalのアセットにハイレゾファイルがある場合、NLEにハイレゾファイルがダウンロードされます。

4 NLEで編集する。

ダウンロードしたプロキシファイルをNLEのタイムラインで編集します。
編集中のプロキシファイルに対応するハイレゾファイルがC3 Portalに接続しているカムコーダーに存在する場合、[HighRes転送を開始] が表示されます。ハイレゾファイルをNLEに転送するとRelinkできます。



ご注意

- Relink前に追加したエフェクトなどの編集内容は、Relink後に失われます。

記録中にファイルをプレビュー／トリミングする

ストリームの記録中やカムコーダーからのチャンクファイル転送中にファイルのプレビューとトリミングを行うことができます。

1 以下のいずれかの方法で、ファイルのプレビューを表示する。



- [ライブ] 画面で記録中のトランスミッターを選択し、ストリーミング情報エリアの [プレビュー] ボタンをクリックします。（ストリームの記録中のみ）
- [アセット] 画面でステータスが「Recording」になっている、またはサムネイル上に （チャンクファイル転送中）アイコンが表示されているアセットを選択し、 （プレビュー）ボタンをクリックします。

2 プレビューを表示しながら、マークイン／マークアウトを設定する。

ご注意

- 記録されたストリームの状態によっては、マークイン／マークアウトのポイントにエラーが発生することがあります。編集点を確実に保持するために、2～3秒の余裕を持ってマークイン／マークアウトを設定してください。

3 ファイルをトリミングする。

- ストリームの記録中のファイルの場合は、プレビューエリアの （メニュー）ボタンから [サブクリップ作成] を選択する。
- チャンクファイル転送中のファイルの場合は、 （サブクリップ作成）ボタンをクリックする。
- 外部ソフトウェアから記録中のアセットにアクセスして編集する場合は、[アセット] 画面の情報パネルで [Playlist URLをコピー] をクリックしてプレイリストのURLをコピーし、外部ソフトウェアにペーストする。

マークインとマークアウトの間の区間がアセットとして登録されます。


ご注意

- プレイリストのURLはHLS向けのm3u8形式です。
- トリム編集中に記録を停止すると、設定したマークイン／マークアウトがクリアされ、変換が開始されます。
- [設定] 画面の [全般] ページの [タイトル] で、サブクリップの名称を自動生成するか手動入力するかを選択できます。
- トリミングの後やクラウドレコーディングを停止した後、アセット登録のための変換が完了するまでには時間がかかります。変換に要する時間は、アセットの記録時間によって異なります。
- 変換中のアセットは再生できません。


チャンクファイル転送中のアセットを編集する

カムコーダーからC3 Portalにチャンクファイル転送されているアセットをリアルタイムで編集することで映像制作全体に掛かる時間を短縮できます。

1 [アセット] 画面のアセットリストでチャンクファイル転送中のアセットを選択する。

チャンクファイル転送中のアセットには（チャンク転送中）アイコンが表示されます。

2 マークイン/マークアウトの設定、エッセンスマークの追加を行い、（サブクリップ作成）ボタンをクリックする。

チャンクファイル転送中のアセットと同じビンにサブクリップが作成されます。サブクリップには（サブクリップ）アイコンが表示されます。

ご注意

- 外部ソフトウェアから記録中のアセットにアクセスして編集する場合は、[アセット] 画面の情報パネルで [Playlist URL をコピー] をクリックしてプレイリストのURLをコピーし、外部ソフトウェアにペーストしてください。プレイリストのURLはm3u8形式です。
- [設定] 画面の [全般] ページの [タイトル] で、サブクリップの名称を自動生成するか手動入力するかを選択できます。
- チャンクファイル転送中のアセットには字幕を追加できません。

3 サブクリップを使ってストーリーボードを作成する、または既存のストーリーボードに追加する。

4 サブクリップを含むストーリーボードをプロキシファイル付きでEDLエクスポートする。

5 エクスポートしたEDLをノンリニアエディターでインポートし、プロキシファイルを使って編集する。


6 カムコーダーで記録が終了したらサブクリップのハイレゾファイルを取得し、プロキシファイルとハイレゾファイルを置き換える。

ストーリーメタデータを編集する


［アセット］画面で、ビンにリンクされているストーリーメタデータを編集できます。
ビンを選択すると、ビンにリンクされているストーリーメタデータが情報パネルの［ストーリー］タブに表示されます。


ご注意

- アセットを選択している場合は、そのアセットが格納されているビンにリンクされたストーリーメタデータが表示されます。
- ストーリーメタデータを編集するには、メタデータが登録されたグループのNRCS Operator、Media Manager、Media Editorのいずれかの権限が必要です。

［ストーリー］タブで（編集）ボタンをクリックすると、ストーリーメタデータを編集できます。

ビンにストーリーメタデータを割り当てるには

ストーリーメタデータが割り当てられていないビンを選択すると、［ストーリー］タブに（リンク）ボタンが表示されます。

（リンク）ボタンをクリックして表示されるダイアログで、ストーリーメタデータを選択して割り当てることができます。

ストーリーメタデータの添付ファイル进行操作する

画像や音声メモが添付されたストーリーがモバイルAppからC3 Portalにアップロードされた場合、C3 Portalで操作できます。

【アセット】画面の情報パネルで【ストーリー】タブを表示させ、【添付ファイル】欄の数字をクリックすると、【添付ファイル】ダイアログが表示されます。

【添付ファイル】ダイアログでは、添付ファイルのプレビュー／削除／ダウンロードを行えます。

設定のバックアップ／復元を行う

カムコーダーのすべての設定をバックアップ／復元できます。バックアップ／復元の対象は、カムコーダーの「All file」です。設定のバックアップ／復元を行うには、[設定] 画面で [バックアップ／復元] ページを表示します。バックアップ／復元操作は、オンラインのカムコーダーでのみ実行できます。

ご注意

- [バックアップ／復元] ページは、Camera Operatorの権限を持つユーザーが使用できます。
- [バックアップ／復元] ページでは、モバイルApp経由で保存されたAll fileの操作はできません。[All file] ページで行ってください。
- 設定のバックアップ／復元は、カムコーダーとC3 Portalをネットワーククライアントモードで接続しているときに行えます。


設定をバックアップするには

設定をバックアップするカムコーダーを [バックアップ／復元] ページで選択し、[バックアップ] ボタンをクリックします。バックアップの名称と説明を入力します。

設定を復元するには

設定を復元するカムコーダーを [バックアップ／復元] ページで選択し、[復元] ボタンをクリックします。バックアップ済みの設定のリストから、復元する設定を選択します。

バックアップファイルを削除するには

[設定] 画面の [カメラAllファイル] ページで、削除するファイルを選択し、（削除）ボタンをクリックします。

ご注意

- [カメラAllファイル] ページを使用できるのは管理者だけです。
- [カメラAllファイル] ページでは、モバイルApp経由で保存されたAll fileの操作はできません。[All file] ページで行ってください。

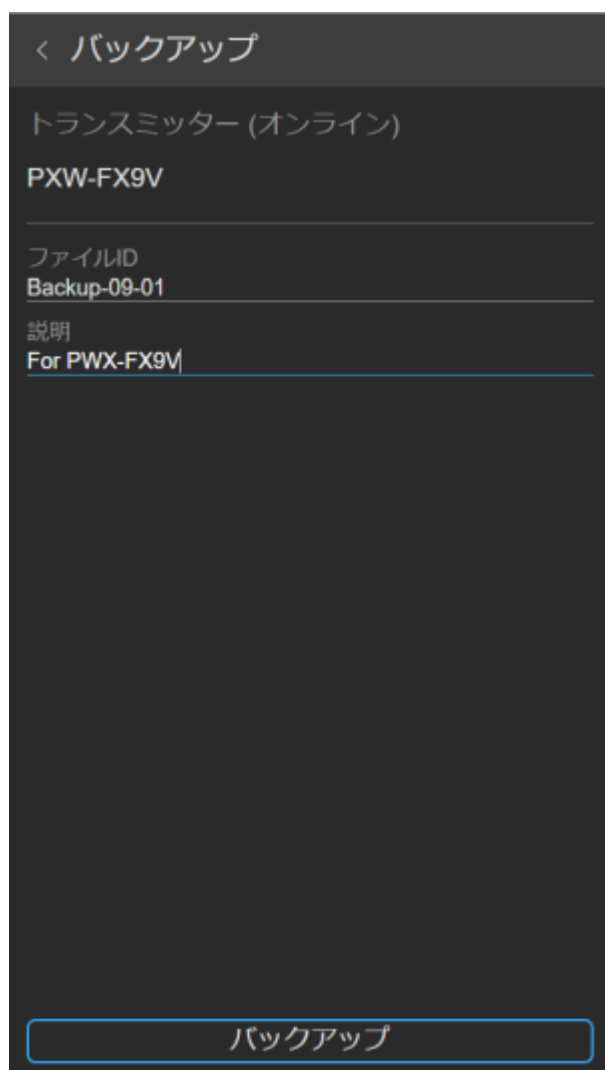
モバイル機器用Web画面で設定をバックアップ／復元する

モバイル機器用Web画面で設定をバックアップ／復元することができます。

ご注意

- モバイル機器でC3 Portalにログインしてバックアップを作成すると、ユーザーごとにバックアップファイルが保存されます。他のユーザーがバックアップファイルを表示することはできません。
- 設定のバックアップ／復元を行うには、カムコーダーがネットワーククライアントモードに設定されている必要があります。
- 設定のバックアップ／復元は、カムコーダーとC3 Portalをネットワーククライアントモードで接続しているときに行えます。

設定をバックアップするには

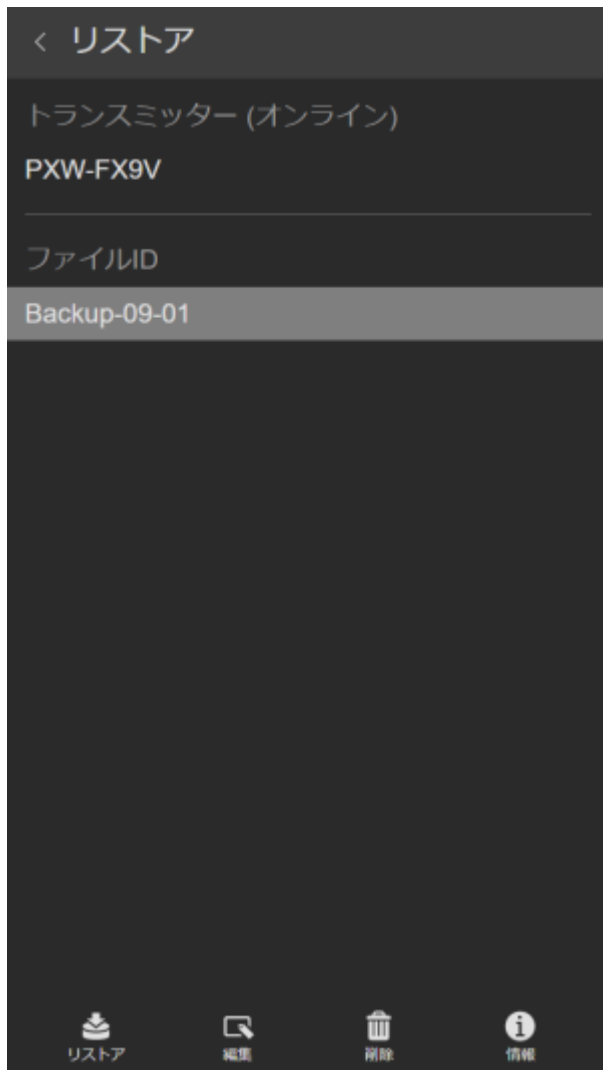


［ファイルID］と［説明］を指定して［バックアップ］をタップすると、設定が保存されます。

ご注意

- ［ファイルID］の入力は必須です。

設定を復元するには



バックアップファイルのファイルIDが表示されます。復元するファイルのファイルIDを選択して「リストア」をタップすると、設定が復元されます。

ファイルの復元だけでなく、ファイルIDの編集、ファイルの削除、ファイルの詳細表示などが可能です。

ご注意

- 設定を復元すると、カムコーダーが再起動します。

LUTを管理する

LUTのアップロード、編集、コピー、ダウンロードなどを行えます。

LUTを管理するには、[設定] 画面で [LUT] ページを表示します。

LUTには個人タイプと共通タイプがあり、個人タイプのLUTは1ユーザーあたり60ファイルまで、共通タイプのLUTは60ファイルまで保存できます。

ご注意

- [LUT] ページは、アプリケーション管理者、Camera Operator、Media Editor、Media Managerのいずれかの権限を持つユーザーが使用できます。
- アプリケーション管理者の権限をもっていないユーザーの場合、自分が所有者の個人タイプのLUT、および共通タイプのLUTのみが表示されます。
- カムコーダーの機種によっては本機能をサポートしていません。詳しくはお使いのカムコーダーの取扱説明書をご確認ください。

LUTをアップロードするには

[LUT] ページで [アップロード] ボタンをクリックします。表示されたダイアログでファイル名と説明を入力し、アップロードするLUTファイル、所有者、タイプを選択して [アップロード] ボタンをクリックします。

LUTをコピーするには

[LUT] ページでコピーしたいLUTファイルを選択し、（コピー）ボタンをクリックします。表示されたダイアログでコピー後のLUTファイル名と説明を入力し、所有者とタイプを選択して [コピー] ボタンをクリックします。

ご注意

- アプリケーション管理者の権限をもっていないユーザーの場合、自分が所有者になっているLUTのみコピーできます。


LUTを編集するには

[LUT] ページで編集したいLUTファイルを選択し、（編集）ボタンをクリックします。表示されたダイアログで内容を編集したら [保存] ボタンをクリックします。


ご注意

- アプリケーション管理者の権限をもっていないユーザーの場合、自分が所有者になっているLUTのみ編集できます。

LUTをダウンロードするには

[LUT] ページでダウンロードしたいLUTファイルを選択し、（ダウンロード）ボタンをクリックします。表示されたダイアログでダウンロード先のフォルダを選択してください。

LUTを削除するには

[LUT] ページで削除したいLUTファイルを選択し、（削除）ボタンをクリックします。

ご注意

- アプリケーション管理者の権限をもっていないユーザーの場合、自分が所有者になっているLUTのみ削除できます。

G-103-100-09(1) Copyright 2021 Sony Corporation

All fileを管理する


モバイルApp経由で保存された設定ファイル（All file）を本サービス上で管理するには、[設定] 画面で [All file] ページを表示します。

All fileには個人タイプと共通タイプがあり、個人タイプのAll fileは1ユーザーあたり60ファイルまで、共通タイプのAll fileは60ファイルまで保存できます。

ご注意

- [All file] ページは、アプリケーション管理者、またはCamera Operatorの権限を持つユーザーが使用できます。
- アプリケーション管理者の権限をもっていないユーザーの場合、自分が所有者の個人タイプのAll file、および共通タイプのAll fileのみが表示されます。
- ネットワーク接続したカメラから本サービスに直接保存された設定ファイル（All file）は、[All file] ページでは管理できません。[バックアップ/復元] ページで行ってください。
- 本サービス上では、カムコーダーのAll fileのバックアップおよびカムコーダーへのAll fileのロードはできません。モバイルAppを使用してください。
- カムコーダーの機種によっては本機能をサポートしていません。詳しくはお使いのカムコーダーの取扱説明書をご確認ください。


All fileを編集するには

[All file] ページで編集したいAll fileを選択し、（編集）ボタンをクリックします。表示されたダイアログで内容を編集したら[保存] ボタンをクリックします。

ご注意

- アプリケーション管理者の権限をもっていないユーザーの場合、自分が所有者になっているAll fileのみ編集できます。

All fileを削除するには

[All file] ページで削除したいAll fileを選択し、（削除）ボタンをクリックします。

ご注意

- アプリケーション管理者の権限をもっていないユーザーの場合、自分が所有者になっているAll fileのみ削除できます。

サービス使用状況を確認する

〔設定〕画面の〔ダッシュボード〕ページを表示します。当月または当日のデータ統計、ライセンス情報などの使用状況を確認できます。

ご注意

- 〔ダッシュボード〕ページを使用できるのは管理者だけです。

グループごとの利用状況を確認するには

グループを選択すると、そのグループの利用量の合計を確認できます。

CSVファイルにエクスポートするには

〔ダッシュボード〕ページに表示されたすべての情報、または選択したグループの情報をCSV形式で出力できます。〔選択したグループの情報〕または〔すべてのグループの情報〕を実行してください。

ヒント

- 〔選択したグループの情報〕は、選択したグループの利用量の合計がCSV出力されます。
- 〔すべてのグループの情報〕は、すべてのグループの利用量がグループごとにCSV出力されます。
- 利用量の単位は以下の通りです。
 - Speech to Text License (msec)
 - Speech to Text duration (msec)
 - Data Transmission License (Bytes)
 - Transferred Data (Bytes)
 - Data Storage License (Bytes)
 - Storage Usage (Bytes)

ご注意

- ゴミ箱に入っているアセットのストレージ使用量とデータ転送量は、「Recycle Bin」として集計されてエクスポートされます。
- エクスポート前に削除されたグループは、グループ名に「(deleted)」が付いた状態でエクスポートされます。
- ウォーターマークなどのグループに属さないデータは、「Others」として集計されてエクスポートされます。

対応フォーマット

本システムは以下の映像フォーマットに対応しています。

ストリーミングのSDI出力フォーマット

- 1920×1080 59.94p、59.94i、50p、50i
- 1280×720 59.94p、50p

アセット映像

- カムコーダーからのアップロードによって登録された映像に対応しています。

ご注意

- カムコーダー以外で記録されたファイルは、ビデオコーデックによっては正しく映像が表示されない場合があります。
 - ファイルの情報を正しく取得できない映像ファイルは、「Generic video」として登録されます。
 - Variable Frame Rate で記録されたプロキシファイルは本サービスで使用できますが、フレーム精度が正しくない場合があります。
 - 静止画およびSDには対応していません。
 - X-OCNコーデックおよび8K解像度には対応していません。
 - HEVCコーデック（High-Res）には対応していません。
- ストリームをファイルに保存する場合、以下の形式で保存されます。
 - 解像度：1920×1080
 - フォーマット：MP4（H.264またはHEVC）
 - ビットレート：[帯域] の設定で決まります。

SNSに対するストリーミングフォーマット

- 1920×1080
- 1280×720
- 640×360

制限事項

本システムの使用には、以下の制限事項が適用されます。

- ネットワーク環境によっては、ストリーミングが中断される場合があります。また、その状態で記録されたクリップを使用すると、本サービスの各機能が正しく動作しないことがあります。
- ストリームから記録されたファイルの映像品質および音声品質は、ネットワーク環境によって異なります。カムコーダーで記録されたファイルと比べて、映像品質や音声品質に差が生じる場合があります。
- カムコーダー（およびワイヤレスアダプター）をネットワーククライアントモードに設定してからC3 Portalのソースエリアに表示されるまでに、少し時間がかかることがあります。
- プレビューエリアの映像表示は、PWS-110RX1A/PWA-RX1のSDI出力映像よりわずかに遅れる場合があります。
- 操作内容はWebブラウザーに表示されます。何らかの理由で表示が乱れた場合は、Webページの再読み込みで元に戻ります。Webページを再読み込みしても正常な表示に戻らないときはWebブラウザーを再起動してください。
- iPadのWebブラウザーから本サービスを使用した場合、一部の機能は正しく動作しません。
- C3 Portalの拡張機能は、C3 Portalに対応したNLEでのみ使用できます。
- エンコーダーで記録されたアセットの画質や精度はエンコーダーの性能に依存します。
- 画面表示の都合上、カムコーダーのシリアル番号の桁数がカムコーダー本体の表記より多く表示される場合があります。
- 使用しているWebブラウザーやグラフィックドライバー（とくにCPUに依存したもの）によっては、映像が再生できない場合があります。

商標

本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。なお、本文中で®、™マークは明記しておりません。

設定編へ

C3 Portalのセットアップや設定変更については、ヘルプガイド（設定編）をご覧ください。

URL : https://helpguide.sony.net/pro/c3p_setup/v1/ja/index.html